

PN-ZP20

Windows セットアップ手順書

(取扱説明書 追補版) Ver. 2.0

2012 年 4 月

シャープ株式会社  
ビジネスソリューション事業推進本部

# 目次

1. 概要 .....	2
2. セットアップ手順 .....	2
2.1. プリインストール・バンドルソフト .....	2
2.2. セットアップの流れ .....	4
2.3. 準備（コントローラーの電源を入れる前にご確認ください） .....	5
2.4. Windows セットアップ .....	5
2.5. ディスプレイ設定ツール .....	8
2.5.1. ディスプレイ側の設定（HDMI 接続時のみ設定してください） .....	8
2.5.2. ディスプレイ設定ツールの実行 .....	8
2.6. Windows のライセンス認証（アクティベーション） .....	10
2.7. PowerPoint Viewer ライセンスのご確認 .....	15
2.7.1. PowerPoint Viewer 2010 SP1 ライセンス条項確認 .....	16
2.7.2. PowerPoint Viewer 2007 SP2 ライセンス条項確認 .....	16
2.8. サイネージ設定ツール、サイネージ／電子黒板設定ツールの実行 .....	17
2.8.1. サイネージ／電子黒板設定ツールの実行 .....	17
2.8.2. サイネージ設定ツールの実行 .....	25
2.9. Windows Media Player / Quick Time Player / Adobe Flash Player の導入 .....	29
2.9.1. Windows Media Player の導入 .....	29
2.9.2. Quick Time Player / Adobe Flash Player の導入 .....	30
2.10. タッチパネルドライバのインストール .....	30
2.11. SHARP ペンソフトのインストール .....	30
2.12. <推奨>ユーザーリカバリイメージの作成 .....	31
3. Windows 再セットアップ手順 .....	34
3.1. Windows の再セットアップ手順 .....	34
3.2. Windows.old フォルダの削除手順 .....	39
4. システムイメージの復元手順 .....	41
4.1. システムイメージの復元手順（HDI 内の回復環境からブートする） .....	41
4.2. システムイメージの復元手順（同梱の Windows7 DVD-ROM からブートする） .....	47

## 1. 概要

本書は、アドバンスコントローラー(PN-ZP20)に付属されている取扱説明書の補足資料であり、Windows の初期セットアップ手順、Windows 再セットアップ手順、システムイメージの復元手順などを説明しています。

## 2. セットアップ手順

プリインストール・バンドルソフト、ならびに PN-ZP20 コントローラーのセットアップ手順について説明します。

※バンドル または バンドルソフトとは、PN-ZP20 ハードディスクイメージにインストーラーファイルがコピーされていること または それらのソフトをさしています。

### 2.1. プリインストール・バンドルソフト

次のソフトウェアがハードディスク内に、バンドルまたはプリインストールされています。

バンドルソフトウェアは、C:\SHARP フォルダに保存されています。

HDI(ハードディスクイメージ)のバージョンによって、搭載ソフトまたはバージョンが異なりますので、ご注意ください。

ソフトウェア	2011/05/27 版			2012/02/16 版		
	バージョン	バンドル	プリインストール	バージョン	バンドル	プリインストール
Windows 7 Professional 日本語 DSP 版	SP1	※1	○	←	←	←
➤ Windows Media Player	12	※1	○	←	←	←
➤ NET Framework	3.5.1	※1	○	←	←	←
e-Signage ビューア版	Ver.3.1.2.4	○	○	Ver.3.2.2.2	○	○
PowerPoint Viewer	2007 SP2	○	○	2010 SP1	○	○
SHARP ペンソフト	Ver.2.1.2.4	○	-	Ver.2.3.2.9	○	-
タッチアプリボタン監視ソフトウェア	-	-	-	Ver.1.0.2.6	○	-
サイネージ設定ツール	Ver.1.0.2.3	○	○	-	-	-
サイネージ/電子黒板設定ツール	-	-	-	Ver.1.1.2.0	○	○
ディスプレイ設定ツール	Ver.1.0.2.2	○	○	←	←	←
マカフィ インターネットセキュリティ 90 日間お試し版	2011/3/9 版	○	-	←	←	←

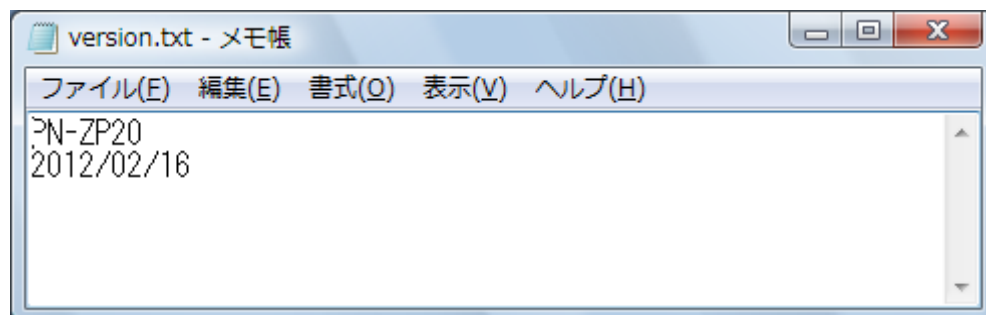
Intel 製 Chipset ドライバー	9.1.1.1019PV	○	○	←	←	←
Intel 製 VGA ドライバー	15.17.15.2281 (8.15.10.2281)	○	○	←	←	←
Realtek 製 HD Audio ドライバー	R2.47	○	○	←	←	←
Intel 製 LAN ドライバー	14.4	○	○	←	←	←
PN-L600B タッチパネルドライバ ー	2.0.2.2	○	-	←	←	←
PN-L601B タッチパネルドライバ ー	1.0.0.1	○	-	←	←	←
PN-T322B タッチパネルドライバ ー	1.3.0.46	○	-	←	←	←
PN-L802B/L702B/L602B タッ チパネルドライバ	-	-	-	2.2.2.7	○	-

※1: ハードディスク内に、C:ドライブの出荷時のシステムイメージが格納されており、「3.Windows 再セットアップ手順」に従って、Windows を復元することができます。

また、本コントローラーの付属品として、DSP 版の Windows7 Professional DVD が含まれています。

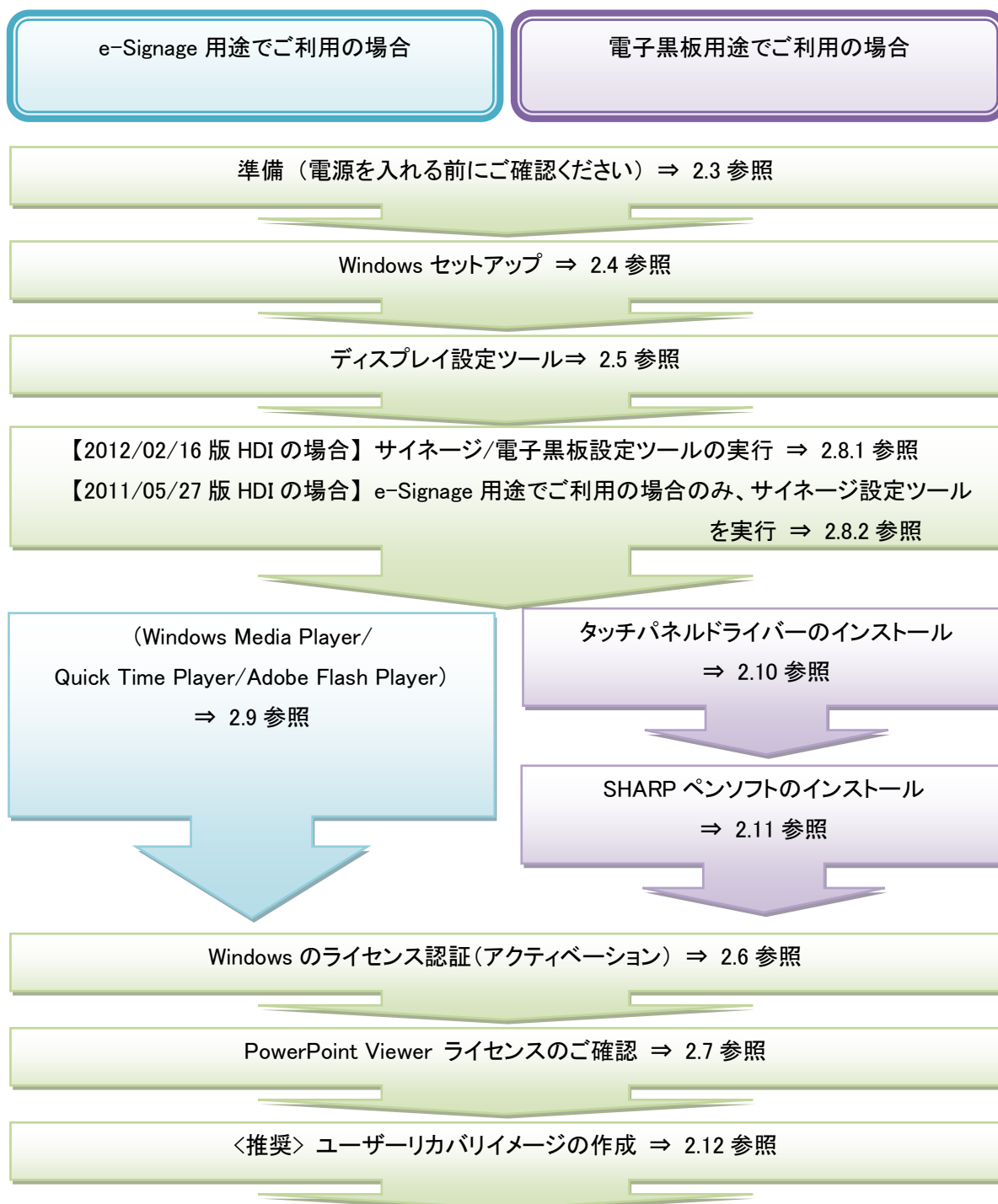
HDI バージョンは、C:¥SHARP¥version.txt ファイルに記載されています。

[スタートメニュー]の[プログラムとファイルの検索]に「C:¥SHARP¥version.txt」と入力すると、下図のようにメモ帳が起動し HDI バージョンを確認することができます。



## 2.2. セットアップの流れ

e-Signage 用途でご利用の場合と、電子黒板用途でご利用の場合では、次のようにセットアップの流れが異なります。




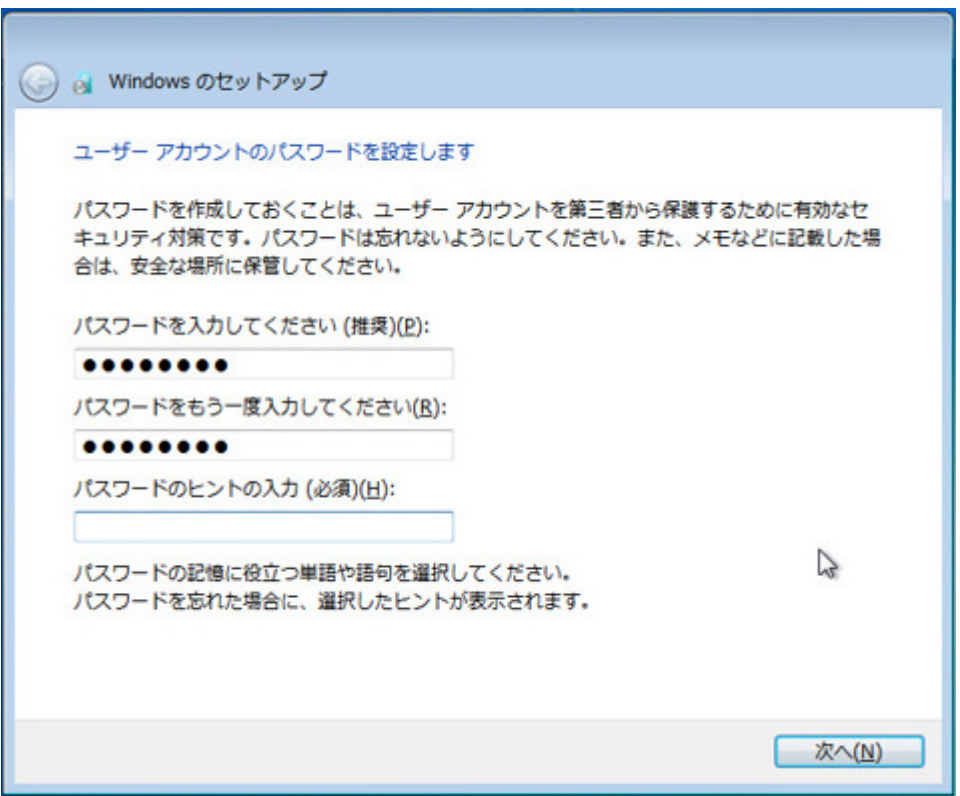
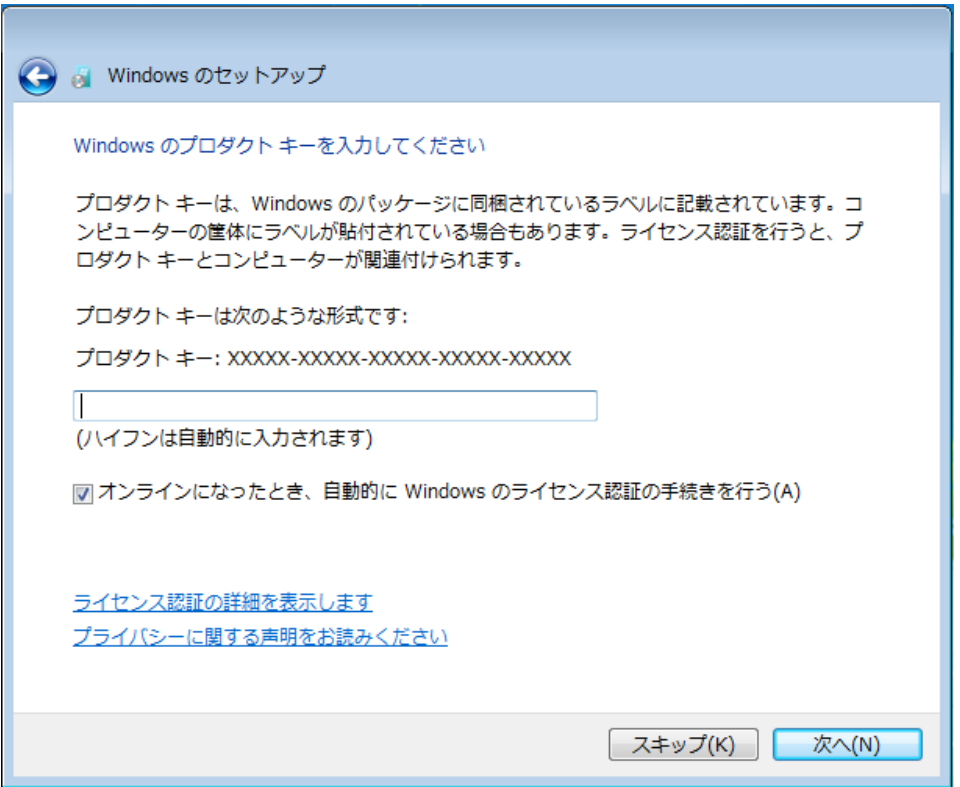
### 2.3. 準備（コントローラーの電源を入れる前にご確認ください）

マウス、キーボード、ディスプレイが接続されていること、ディスプレイの電源が入っていることを確認して、コントローラーの電源を入れてください。

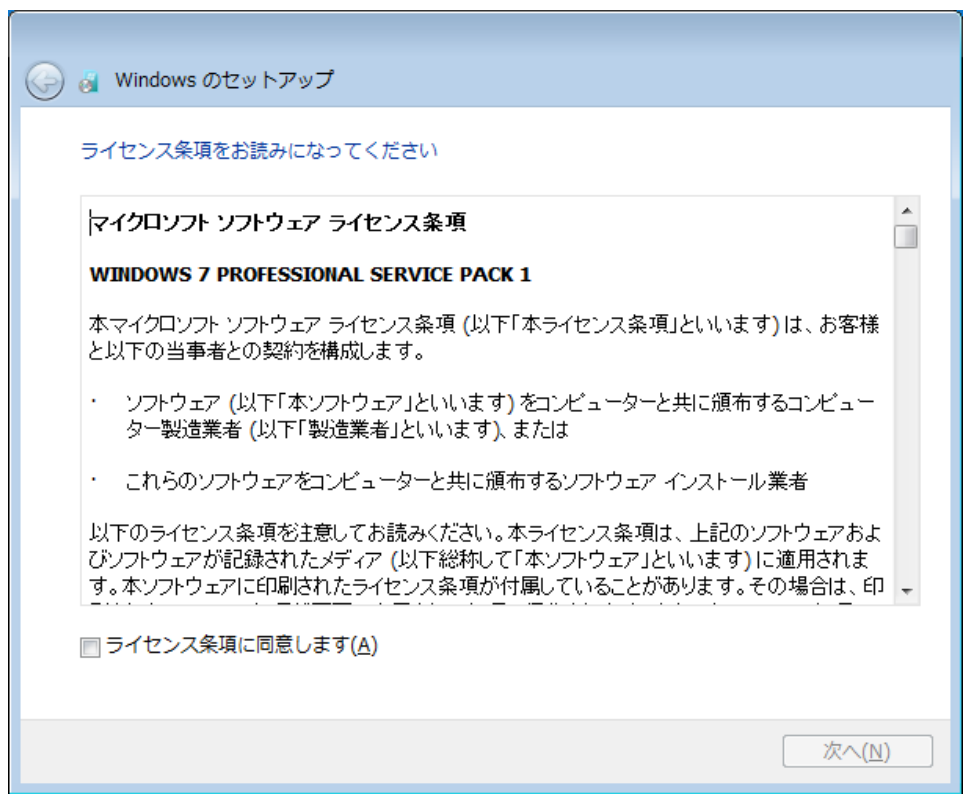
### 2.4. Windows セットアップ

電源を入れた後しばらくすると、Windows のセットアップ画面が表示されます。Windows セットアップの手順を以下に説明します。

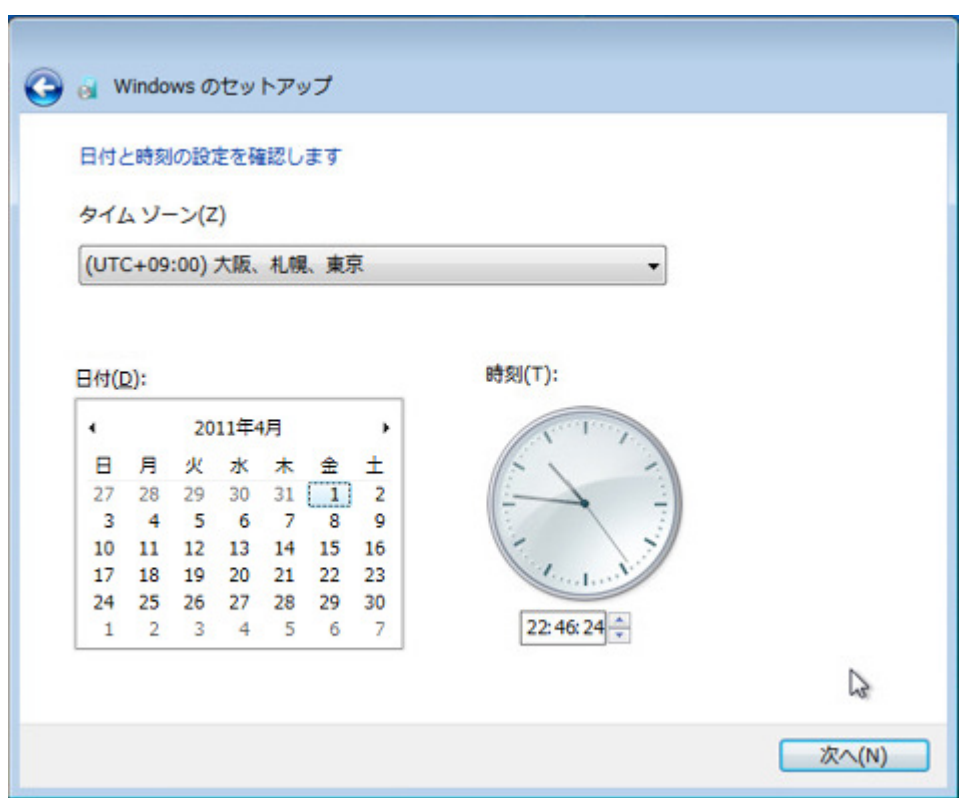
<p>1 ユーザー名とコンピューター名を入力します。 入力後、[次へ]をクリックします。</p>	
--	---

<p>2 ユーザーアカウントのパスワードを入力します。 このパスワードは忘れないようにしてください。 Windows の再インストール処理、システムイメージの回復処理を行う場合にも必要になります。 入力後、[次へ]をクリックします。</p>	 <p>The screenshot shows the 'Windows のセットアップ' (Windows Setup) window. The title bar says 'Windows のセットアップ'. The main heading is 'ユーザー アカウントのパスワードを設定します' (Set up your user account password). Below this, there is explanatory text: 'パスワードを作成しておくことは、ユーザー アカウントを第三者から保護するために有効なセキュリティ対策です。パスワードは忘れないようにしてください。また、メモなどに記載した場合は、安全な場所に保管してください。' (Creating a password is an effective security measure to protect your user account from third parties. Please do not forget your password. If you have written it down in a memo, please store it in a safe place). There are three input fields: 'パスワードを入力してください (推奨)(P):' (Enter your password (recommended) (P):), 'パスワードをもう一度入力してください(B):' (Re-enter your password (B):), and 'パスワードのヒントの入力 (必須)(H):' (Enter a password hint (required) (H):). Below the fields is a note: 'パスワードの記憶に役立つ単語や語句を選択してください。パスワードを忘れた場合に、選択したヒントが表示されます。' (Select words or phrases that will help you remember your password. If you forget your password, the hint you selected will be displayed). At the bottom right, there is a button labeled '次へ(N)' (Next (N)).</p>
<p>3 プロダクトキー(25 桁)を入力します。 プロダクトキーはコントローラー本体に貼付されているラベルにある product key です。 入力後、[次へ]をクリックします。</p>	 <p>The screenshot shows the 'Windows のセットアップ' (Windows Setup) window. The title bar says 'Windows のセットアップ'. The main heading is 'Windows のプロダクト キーを入力してください' (Enter your Windows product key). Below this, there is explanatory text: 'プロダクト キーは、Windows のパッケージに同梱されているラベルに記載されています。コンピューターの筐体にラベルが貼付されている場合もあります。ライセンス認証を行うと、プロダクト キーとコンピューターが関連付けられます。' (The product key is printed on a label included with the Windows package. It may also be on a label on the computer case. Once you activate Windows, the product key and computer will be linked). There is a note: 'プロダクト キーは次のような形式です：' (The product key is in the following format:), followed by an example: 'プロダクト キー: XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX'. Below this is an input field for the product key and a note: '(ハイフンは自動的に入力されます)' (Hyphens are entered automatically). There is a checkbox labeled 'オンラインになったとき、自動的に Windows のライセンス認証の手続きを行う(A)' (When online, automatically perform Windows license activation (A)), which is checked. At the bottom, there are two buttons: 'スキップ(K)' (Skip (K)) and '次へ(N)' (Next (N)).</p>

4 Windows ライセンス条項を確認して、[ライセンス条項に同意します]にチェックを入れます。  
[次へ]をクリックします。

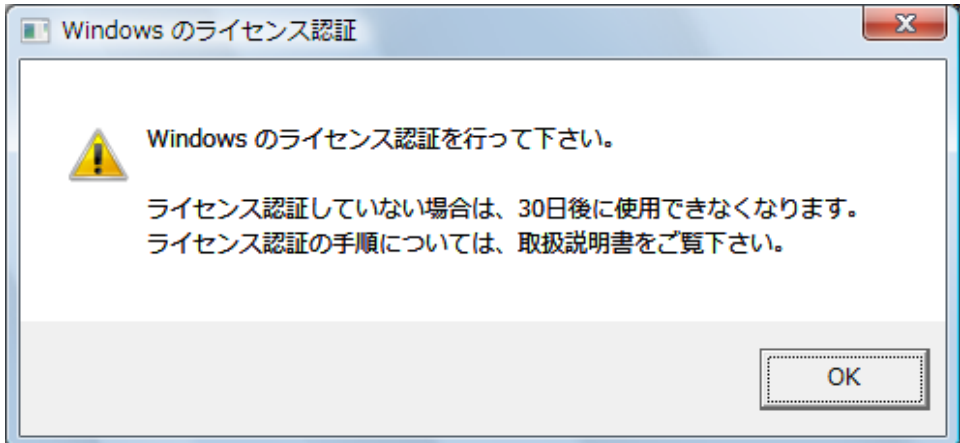


5 日付と時刻の設定を確認し、必要に応じて設定を変更します。  
[次へ]をクリックします。



「デスクトップの準備をしています...」のメッセージの後、デスクトップが表示されます。



6	<p>「Windows のライセンス認証を行ってください」の画面が表示されますので、[OK]をクリックします。</p>	
---	---	--

## 2.5. ディスプレイ設定ツール

ディスプレイを接続後初めて使用するときや接続を変更した場合は必ず、次の設定が必要です。設定を行わない場合、PC のグラフィックドライバーとディスプレイの映像レンジが一致しないため、本来黒表示される映像がグレー表示される、又は、階調つぶれが発生する場合があります。

### 2.5.1. ディスプレイ側の設定（HDMI 接続時のみ設定してください）

ディスプレイの“機能切換”メニュー → “端子設定” → “HDMI” にて“PC HDMI”を設定します。

※ 出荷時は“AV HDMI”に設定されています。

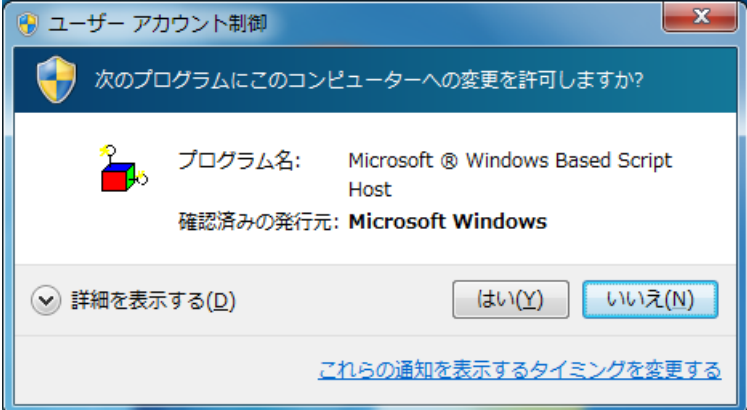
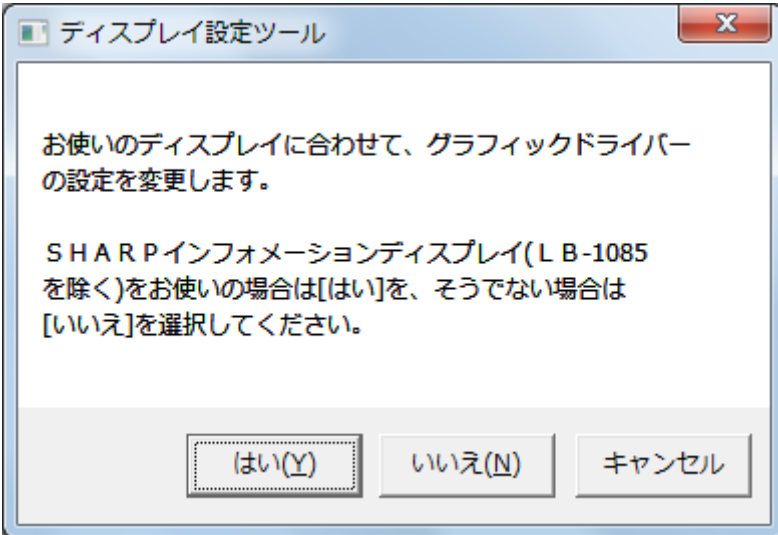
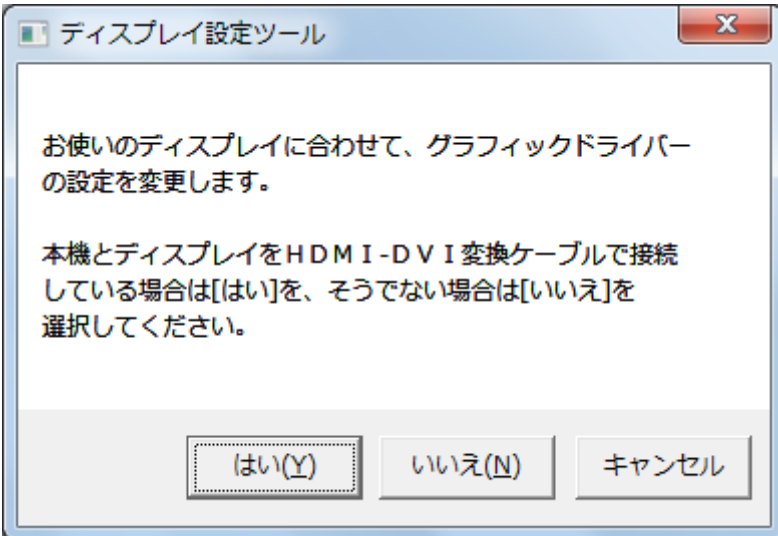
※ PN-S525/S655 の場合、“PC2 HDMI”を設定します。

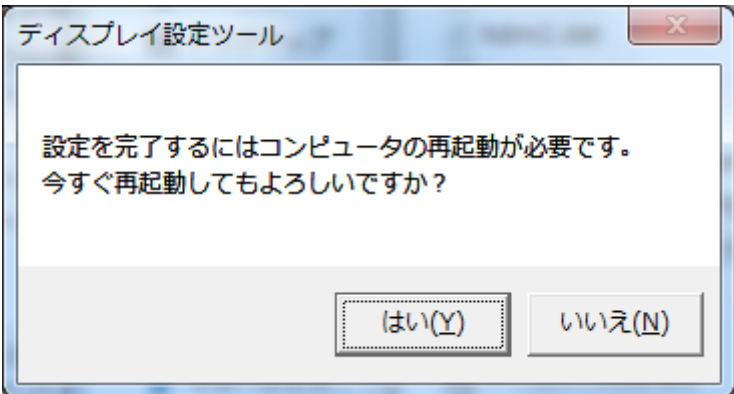
※ PN-T シリーズと接続する場合、HDMI ケーブルでの接続が出来ない為、この手順は必要ありません。

### 2.5.2. ディスプレイ設定ツールの実行

管理者権限で実行してください。

1	<p>デスクトップにあるディスプレイ設定ツールのショートカット、または C:¥SHARP¥Utility¥SetForESignage フォルダにある「ディスプレイ設定ツール」をダブルクリックします。</p>	
---	--	--

2	<p>「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい]をクリックします。</p>	
3	<p>SHARP インフォメーションディスプレイ(LB-1085を除く)を使っている場合は、[はい]をクリックします。</p> <p>その他の場合は、[いいえ]をクリックします。</p> <p>[キャンセル]をクリックした場合は、ディスプレイ設定ツールを中止します。</p>	
4	<p>本機とディスプレイをHDMI-DVI変換ケーブルで接続している場合は、[はい]をクリックします。</p> <p>その他の場合は、[いいえ]をクリックします。</p> <p>[キャンセル]をクリックした場合は、ディスプレイ設定ツールを中止します。</p>	

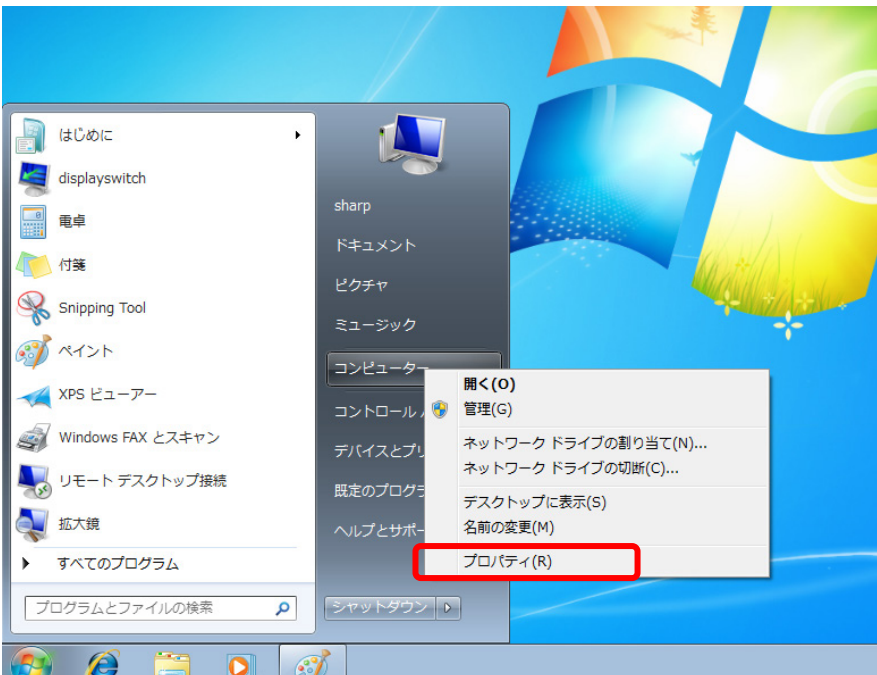
<p>5 設定が完了すると右図の画面が表示されます。 [はい]をクリックして再起動してください。</p>	
--	--


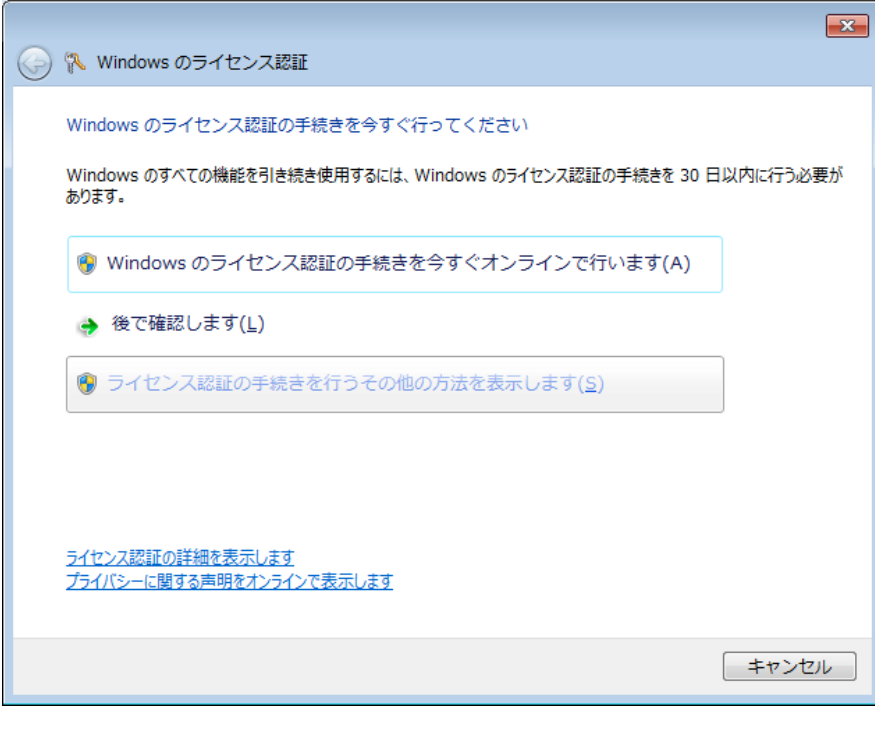
## 2.6. Windows のライセンス認証 (アクティベーション)

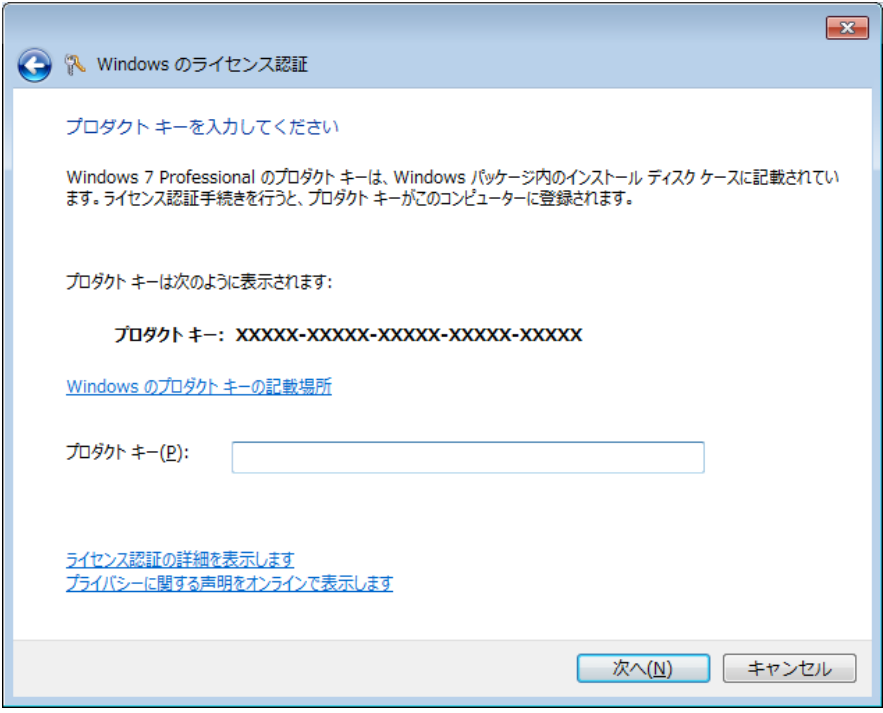
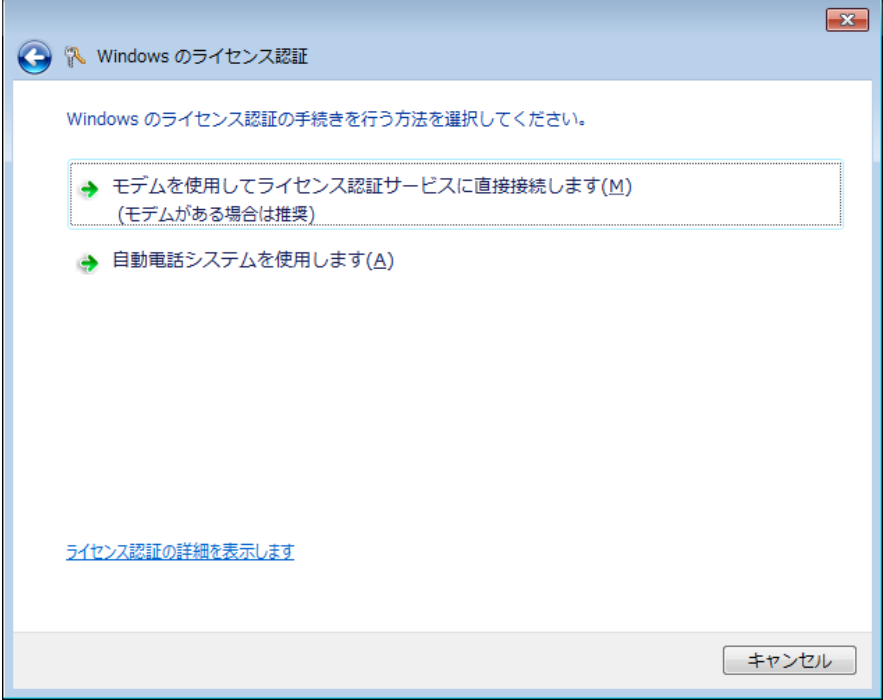
Windows セットアップ後、30 日以内に Windows をライセンス認証(アクティベーション)する必要があります。Windows をセットアップするときに Windows をオンラインで自動的にライセンス認証するよう選択した場合は、最初にコントローラーの電源を入れてから 3 日後に自動ライセンス認証によって Windows のライセンス認証が開始されます。

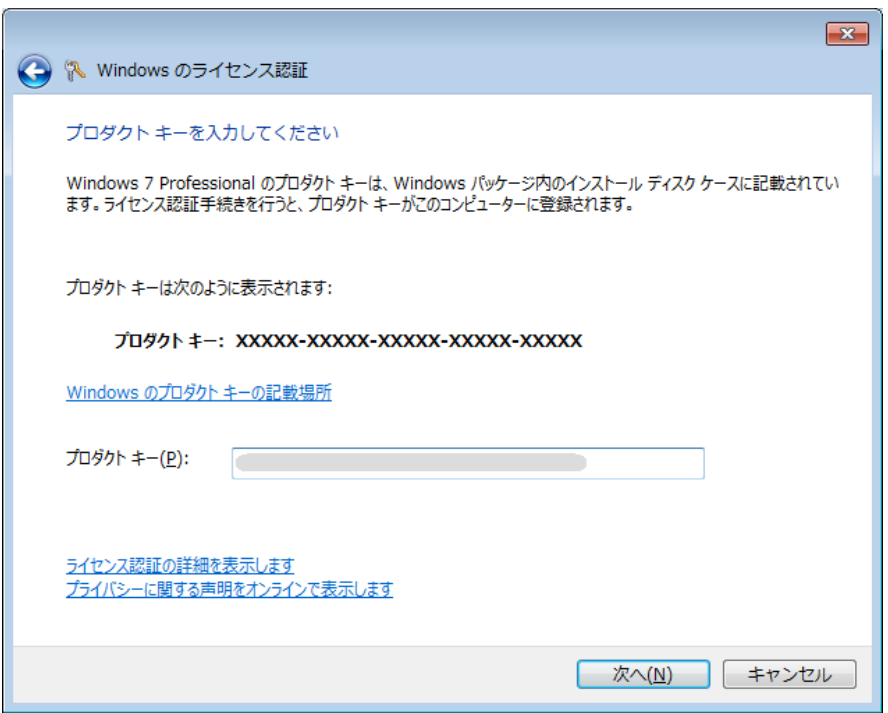
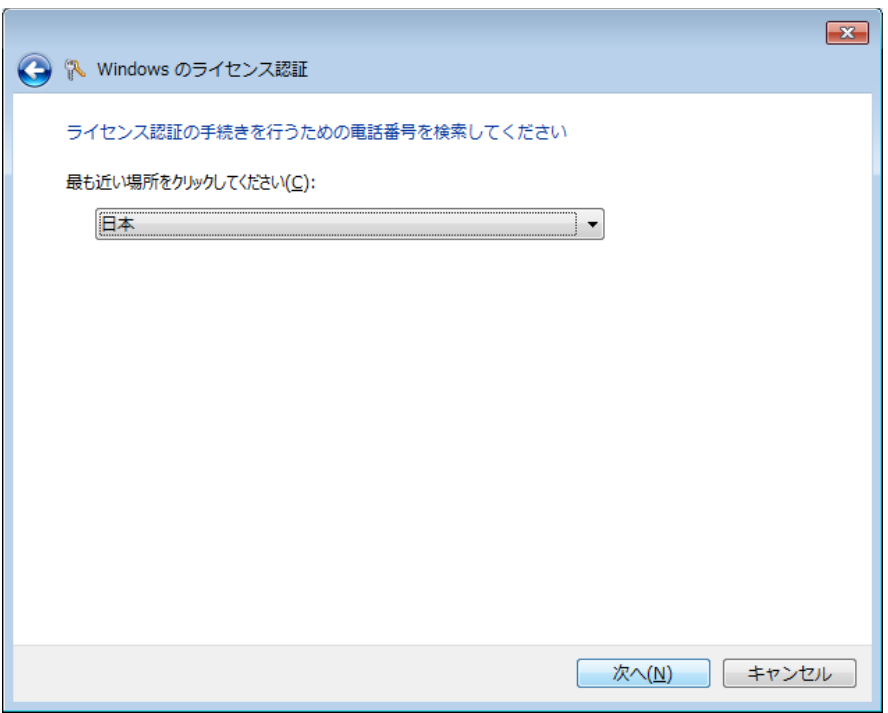
Windows をオンライン(インターネット)でライセンス認証できない場合、自動電話システムを使用して、Windows 7 をライセンス認証するオプションがあります。

以下に自動電話システムを使用したアクティベーション手順を説明します。

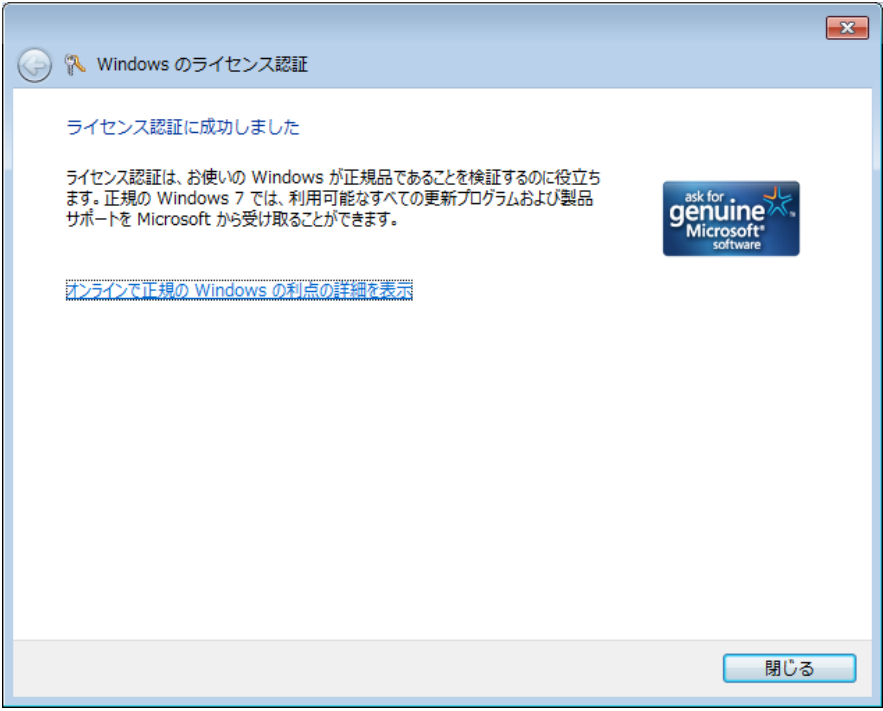
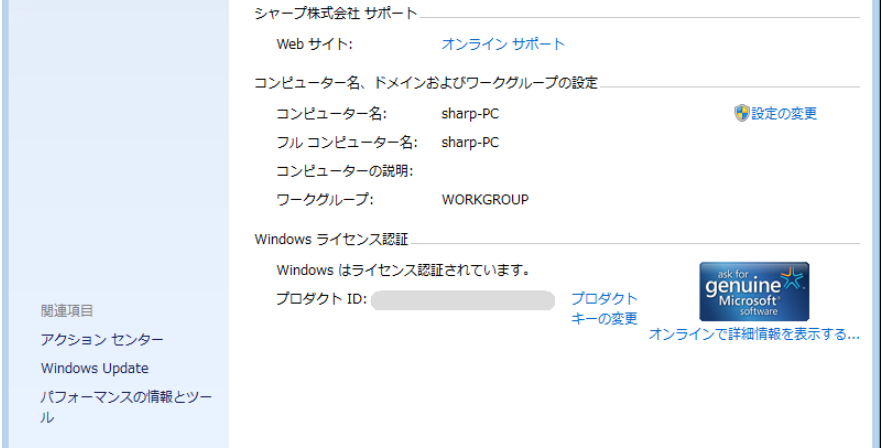
<p>1 [コンピューター] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。</p>	
--	--

<p>2</p>	<p>[コンピューターの基本的な情報の表示]画面の最下部にある[Windows ライセンス認証]を表示します。 [Windows のライセンス認証を 30 日以内に行ってください。今すぐ行う場合はここをクリックしてください]をクリックします。</p>	 <p>The screenshot shows the Windows 7 System Information page. At the bottom, under the '関連項目' (Related items) section, the link 'Windows ライセンス認証' is highlighted with a red rectangular box. Below this link, there is a smaller text box that reads: 'Windows のライセンス認証を 30 日以内に行ってください。今すぐライセンス認証を行う場合はここをクリックしてください。'</p>
<p>3</p>	<p>[ライセンス認証の手続きを行うその他の方法を表示します]をクリックします。</p>	 <p>The screenshot shows the 'Windows のライセンス認証' dialog box. It contains the following text: 'Windows のライセンス認証の手続きを今すぐ行ってください' and 'Windows のすべての機能を引き続き使用するには、Windows のライセンス認証の手続きを 30 日以内に行う必要があります。' There are three main buttons: 'Windows のライセンス認証の手続きを今すぐオンラインで行います(A)', '後で確認します(L)', and 'ライセンス認証の手続きを行うその他の方法を表示します(S)'. The last button is highlighted with a light blue background. At the bottom right, there is a 'キャンセル' button. At the bottom left, there are two links: 'ライセンス認証の詳細を表示します' and 'プライバシーに関する声明をオンラインで表示します'.</p>

<p>4</p>	<p>[Windows のライセンス認証]画面に「プロダクトキーを入力してください」と表示されたら、[プロダクトキー] ボックスに Windows7 のパッケージに記載されているプロダクトキーを入力して、[次へ]ボタンをクリックします。</p> <p>※既にプロダクトキーを入力済みの場合には本画面は表示されません。</p>	
<p>5</p>	<p>[自動電話システムを使用します] をクリックします。</p>	

<p>6</p> <p>再度プロダクトキーを入力する画面が表示されます。既に入力したプロダクトキーが表示されますので、間違いがないか確認の上、[次へ] ボタンをクリックします。</p> <p>※既にプロダクトキーを入力済みの場合には本画面は表示されません。</p>	
<p>7</p> <p>日本国内で手続きをする場合は、ドロップダウンリストボックスから [日本] をクリックして、[次へ] ボタンをクリックします。</p>	

<p>8</p>	<p>ライセンス認証窓口の電話番号が画面に表示されます。 表示されている電話番号に電話をかけます。</p>	
<p>9</p>	<p>音声ガイダンスが応答しますので、ガイダンスに従い電話機の操作をします。 1 番目のガイダンスでは音声の言語を選択します。日本語の場合は 1 キーを、英語の場合は 2 キーを押します。 2 番目のガイダンスでは製品を選択します。Windows 7 の場合は 2 キーを押します。 音声ガイダンスでインストール ID を 6 桁ずつ入力するよう指示がありますので、[1] から [9] のボックスに表示されているインストール ID を 6 桁ずつ電話機のボタンを使用して入力します。</p>	
<p>10</p>	<p>インストール ID の入力後、システムが自動的にライセンス認証データベースへ接続して、Windows 7 の認証作業を行います。認証可能な場合は、確認 ID が読み上げられますので、[ステップ 3:] の [A] から [H] のボックスに 6 桁ずつ入力して、[次へ] ボタンをクリックします。</p>	

<p>11</p>	<p>画面に“ライセンス認証に成功しました”と表示されたら、[閉じる] ボタンをクリックします。</p>	
<p>12</p>	<p>認証済みであるか否かは、[コンピューター] の [プロパティ] で確認できます。</p>	

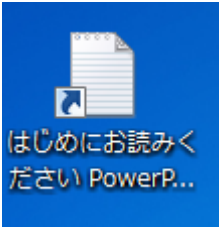
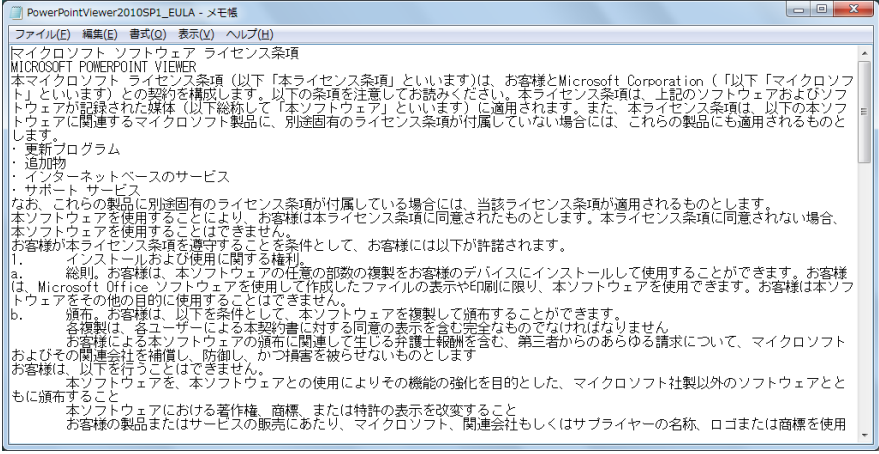
## 2.7. PowerPoint Viewer ライセンスのご確認

HDI バージョンが 2012/02/16 版の場合には、「2.7.1 PowerPoint Viewer 2010 SP1 ライセンス条項確認」を参照し、PowerPoint Viewer 2010 のライセンス条項を確認してください。

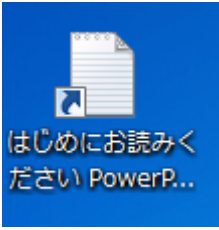
HDI バージョンが 2011/05/27 版の場合には、「2.7.2 PowerPoint Viewer 2007 SP2 ライセンス条項確認」を参照し、PowerPoint Viewer 2007 のライセンス条項を確認してください。

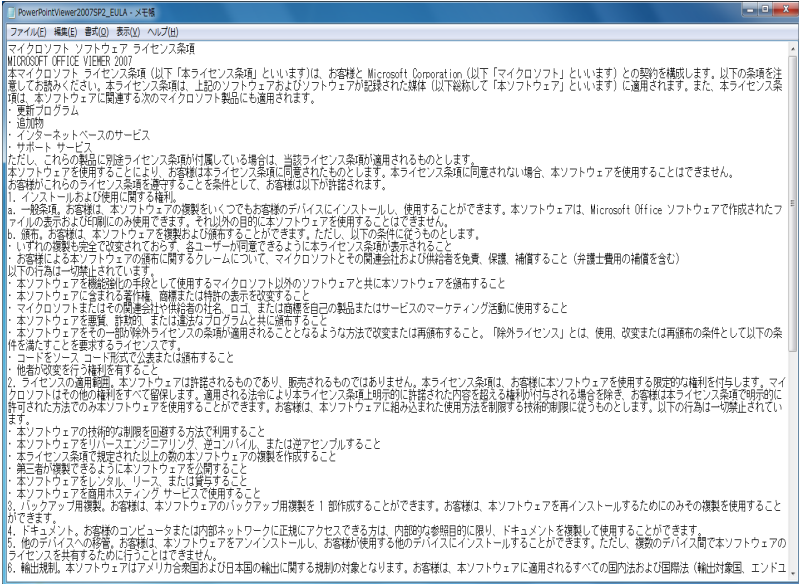


### 2.7.1. PowerPoint Viewer 2010 SP1 ライセンス条項確認

<p>1 デスクトップにある「はじめにお読みください PowerPointViewer2010SP1_EULA」のショートカットまたは、 C:\SHARP\Utility\PowerPointViewer フォルダにある「PowerPoint Viewer2010SP1_EULA.txt」をダブルクリックします。</p>	
<p>2 メモ帳に、PowerPoint Viewer 2010と サービスパック 1のライセンス条項が表示されますので、ライセンス条項内容をご確認ください。 本内容に同意いただけない場合、PowerPoint Viewer 2010を使用することができません。</p>	
<p>3 ライセンス条項の内容確認が終わったら、メモ帳を終了します。</p>	

### 2.7.2. PowerPoint Viewer 2007 SP2 ライセンス条項確認

<p>1 デスクトップにある「はじめにお読みください PowerPointViewer2007SP2_EULA」のショートカットまたは、 C:\SHARP\Utility\PowerPointViewer フォルダにある「PowerPoint Viewer2007SP2_EULA.txt」をダブルクリックしま</p>	
---	---

	す。	
2	<p>メモ帳に、PowerPoint Viewer 2007と サービスパック 2 のライセンス条項が表示されますので、ライセンス条項内容をご確認ください。</p> <p>本内容に同意いただけない場合、PowerPoint Viewer 2007を使用することができません。</p>	
3	<p>ライセンス条項の内容確認が終わったら、メモ帳を終了します。</p>	

## 2.8. サイネージ設定ツール、サイネージ／電子黒板設定ツールの実行

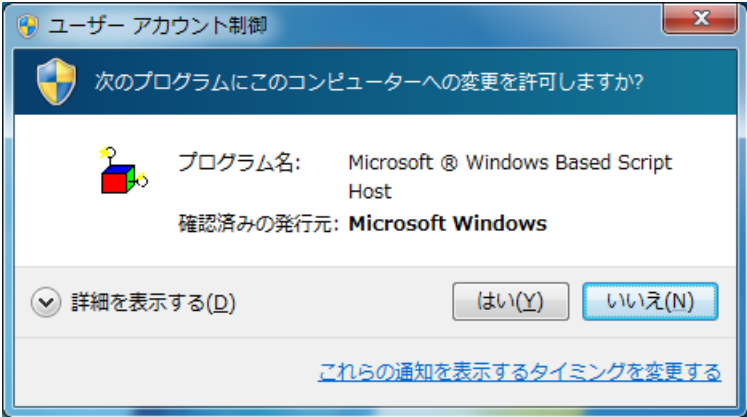
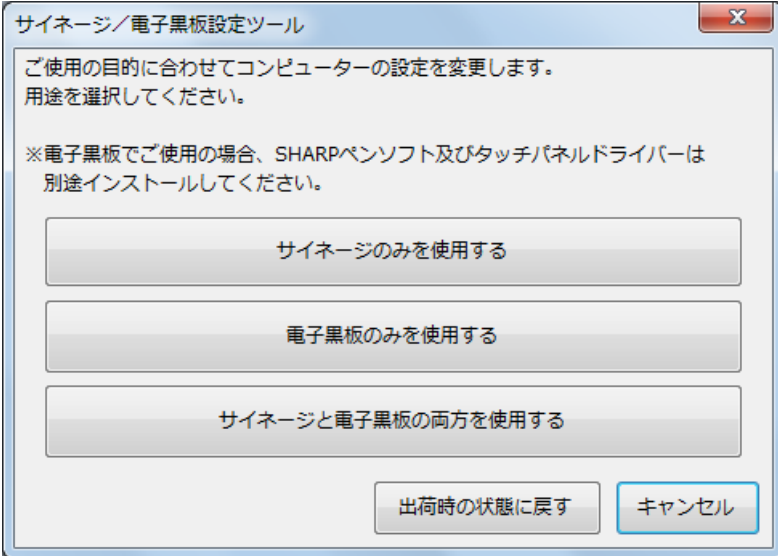
ご使用の HDI バージョンが 2012/02/16 版の場合には、「2.8.1 サイネージ／電子黒板設定ツールの実行」を参照し、サイネージ／電子黒板設定ツールを実行してください。

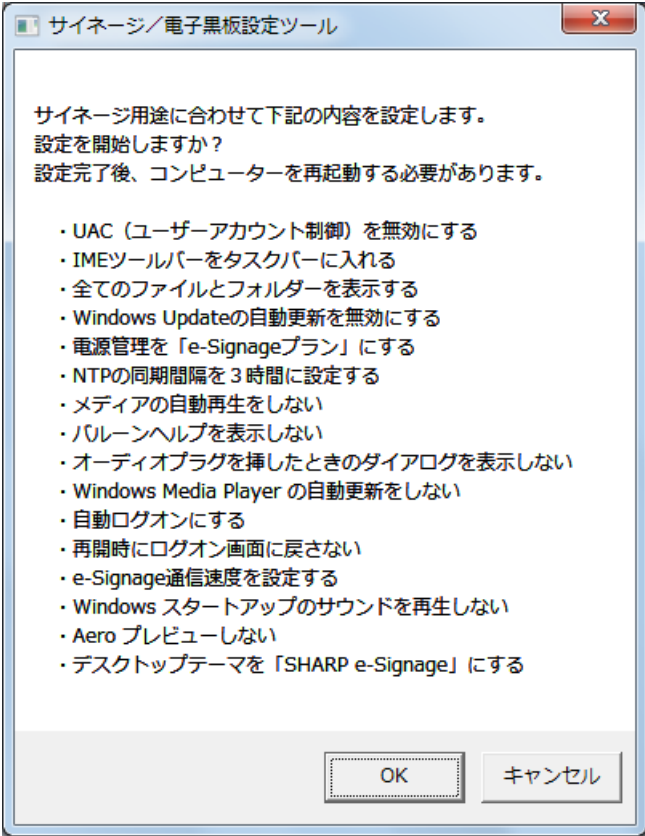
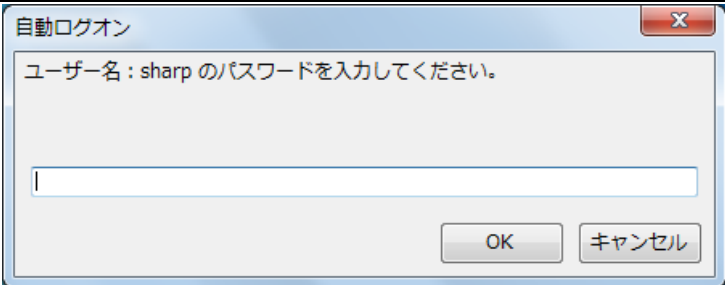
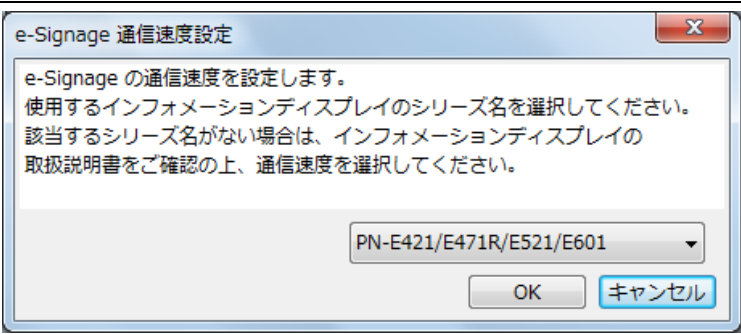
HDI バージョンが 2011/05/27 版で、サイネージ用途でご利用される場合には、「2.8.2 サイネージ設定ツールの実行」をご参照の上、サイネージ設定ツールを実行してください。

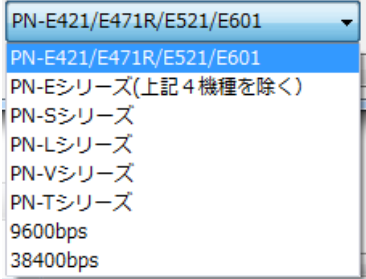
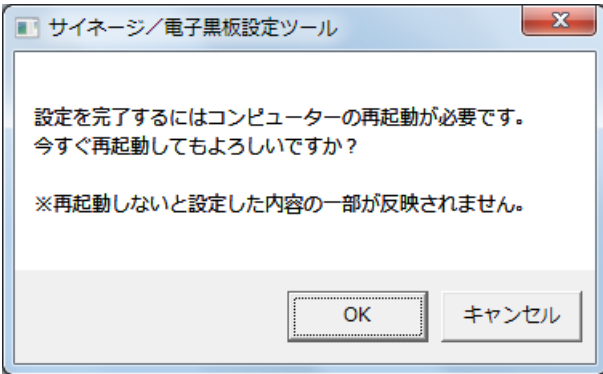
いずれも管理者権限のあるユーザーで実行してください。

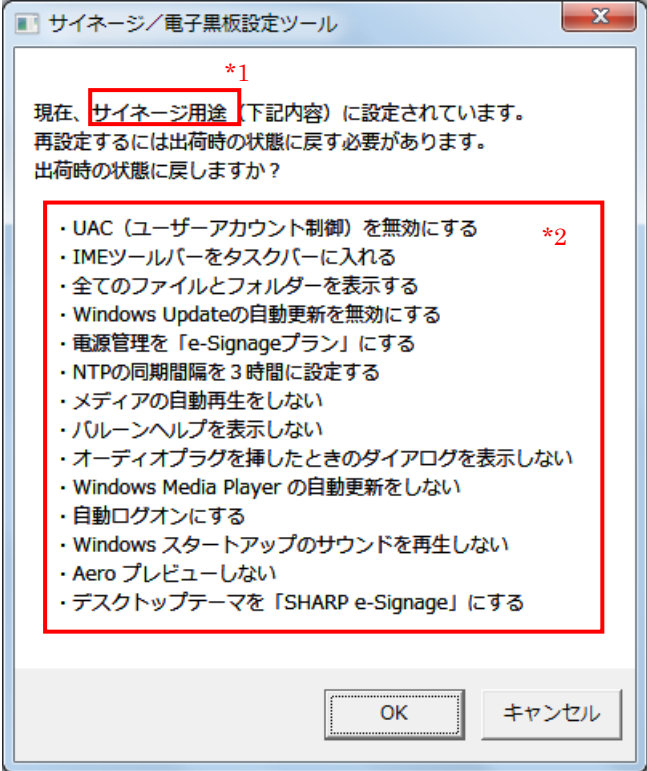
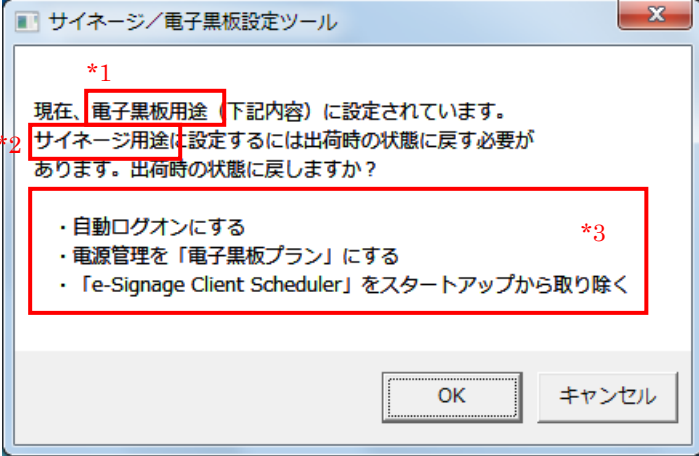
### 2.8.1. サイネージ／電子黒板設定ツールの実行

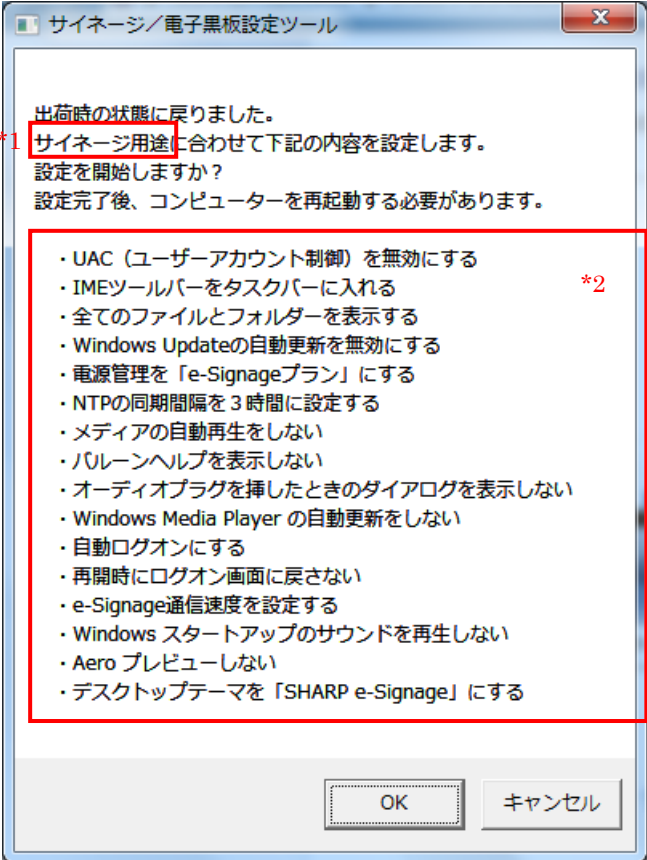
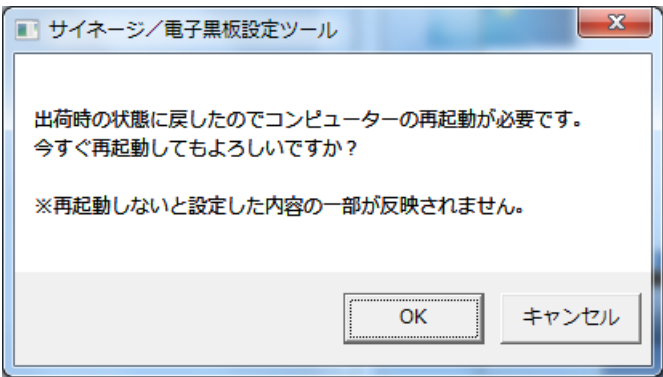
1	<p>デスクトップにあるサイネージ／電子黒板設定ツールのショートカット、または C:\SHARP\Utility\SetForESignage フォルダにある「サイネージ／電子黒板設定ツール」をダブルクリックします。</p>	
---	--	---

2	<p>「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい]をクリックします。</p>	
3	<p>「サイネージ／電子黒板設定ツール」トップ画面が表示されます。</p> <p>用途に応じてボタンをクリックします。</p> <p>① [サイネージのみを使用する]場合には No.4 へ進みます。</p> <p>② [電子黒板のみを使用する]場合には No.12 へ進みます。</p> <p>③ [サイネージと電子黒板の両方を使用する]場合には No.14 へ進みます。</p> <p>④ [出荷時の状態に戻す]場合には No.15 へ進みます。</p> <p>⑤ [キャンセル]をクリックした場合は、サイネージ／電子黒板設定ツールを終了します。</p>	

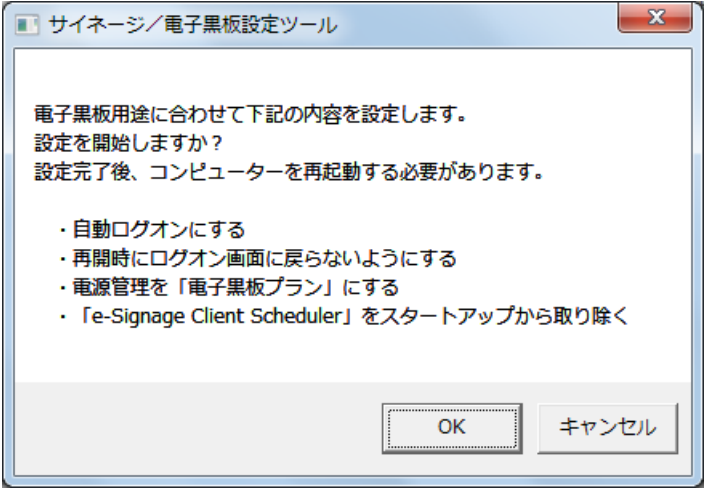
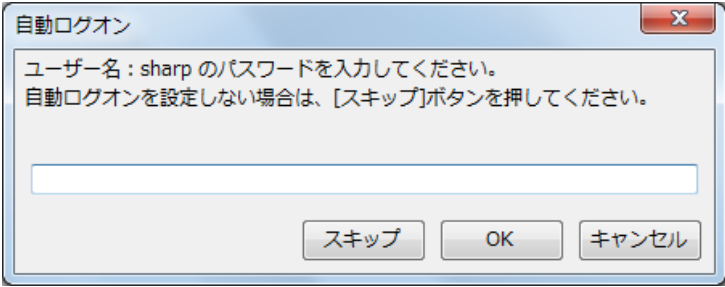
<p>4 ①「<u>サイネージのみを使用する</u>」を選択した場合</p> <p>※既にサイネージ用途に設定されている場合は No.8 へ、他の用途に設定されている場合は No.9 へ進みます。</p> <p>サイネージ用途に設定する場合は、[OK]をクリックします。 ( → No.5 へ)</p> <p>[キャンセル]をクリックした場合は、設定を中止しトップ画面に戻ります。 ( → No.3 へ)</p>	 <p>サイネージ用途に合わせて下記の内容を設定します。 設定を開始しますか? 設定完了後、コンピューターを再起動する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ UAC (ユーザーアカウント制御) を無効にする</li> <li>・ IME ツールバーをタスクバーに入れる</li> <li>・ 全てのファイルとフォルダーを表示する</li> <li>・ Windows Update の自動更新を無効にする</li> <li>・ 電源管理を「e-Signage プラン」にする</li> <li>・ NTP の同期間隔を 3 時間に設定する</li> <li>・ メディアの自動再生をしない</li> <li>・ バルーンヘルプを表示しない</li> <li>・ オーディオプラグを挿したときのダイアログを表示しない</li> <li>・ Windows Media Player の自動更新をしない</li> <li>・ 自動ログオンにする</li> <li>・ 再開時にログオン画面に戻さない</li> <li>・ e-Signage 通信速度を設定する</li> <li>・ Windows スタートアップのサウンドを再生しない</li> <li>・ Aero プレビューしない</li> <li>・ デスクトップテーマを「SHARP e-Signage」にする</li> </ul> <p>OK キャンセル</p> <p>※サイネージ用途に設定する項目が全て表示されます。</p>
<p>5 ユーザーのログインパスワードを入力して[OK]をクリックします。 ( → No.6 へ)</p> <p>[キャンセル]をクリックした場合は、設定を中止しトップ画面に戻ります。 ( → No.3 へ)</p>	 <p>自動ログオン</p> <p>ユーザー名: sharp のパスワードを入力してください。</p> <p>OK キャンセル</p> <p>※パスワードなしでも登録可能です。 ※ログイン時のパスワードと違うものを登録すると再起動後自動ログオンできません。(但し、ログイン時のパスワードがなしの場合は何を登録しても自動ログオンは可能です)</p>
<p>6 通信速度を選択して [OK]をクリックします。 ( → No.7 へ)</p> <p>[キャンセル]をクリックした場合は、設定を中止しトップ画面に戻ります。 ( → No.3 へ)</p>	 <p>e-Signage 通信速度設定</p> <p>e-Signage の通信速度を設定します。 使用するインフォメーションディスプレイのシリーズ名を選択してください。 該当するシリーズ名がない場合は、インフォメーションディスプレイの取扱説明書をご確認の上、通信速度を選択してください。</p> <p>PN-E421/E471R/E521/E601</p> <p>OK キャンセル</p>

		 <p>以下の場合、サインージ設定ツールを実行後に e-Signage の「モニタ制御」の設定が別途必要となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- RS-232C ではなく LAN 接続によりモニタを制御する場合</li> <li>- 複数台のモニタを制御する場合</li> </ul> <p>e-Signage の「モニタ制御」設定の方法については、e-Signage の取扱説明書の「スケジュール受信・番組表示」-「e-Signage クライアントスケジューラについて」-「e-Signage クライアントスケジューラのメニュー」の説明をご参照ください。</p>
7	<p>設定が完了すると、右の画面が表示されます。 [OK]をクリックして、再起動してください。</p> <p>[キャンセル]をクリックすると、ツールが終了しますが、システムを再起動するまで一部の設定が有効になっていません。 手動で再起動してください。</p>	

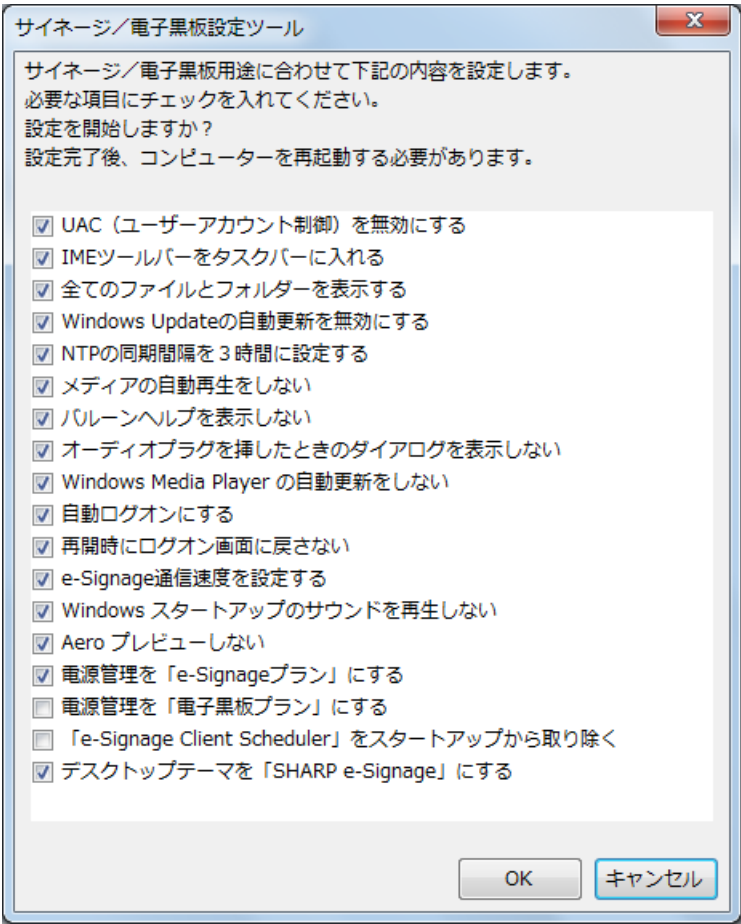
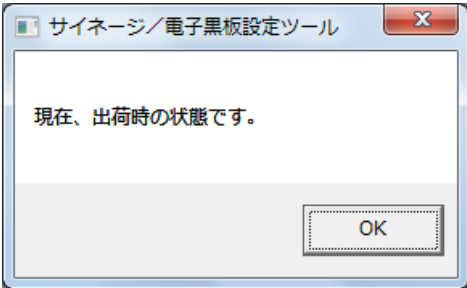
<p>8</p> <p>★既にサインージ用途に設定された状態から、再設定する場合には、右図の画面が表示されます。</p> <p>出荷時の状態に戻す場合は、[OK]をクリックします。( → No.10 へ)</p> <p>[キャンセル]をクリックした場合は、設定を中止しトップ画面に戻ります。( → No.3 へ)</p>	 <p>*1 現在、設定されている用途名が入ります。</p> <p>*2 現在、設定されている項目が表示されます。</p>
<p>9</p> <p>★他の用途に設定された状態から、サインージ用途に設定する場合には、右図の画面が表示されます。</p> <p>出荷時の状態に戻す場合は、[OK]をクリックします。( → No.10 へ)</p> <p>[キャンセル]をクリックした場合は、設定を中止しトップ画面に戻ります。( → No.3 へ)</p>	 <p>*1 現在、設定されている用途名が入ります。</p> <p>*2 トップ画面で選択した用途名が入ります。</p> <p>*3 現在、設定されている項目が表示されます。</p>

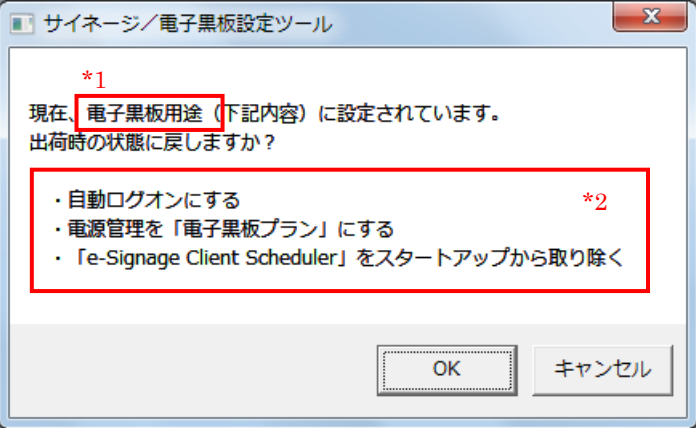
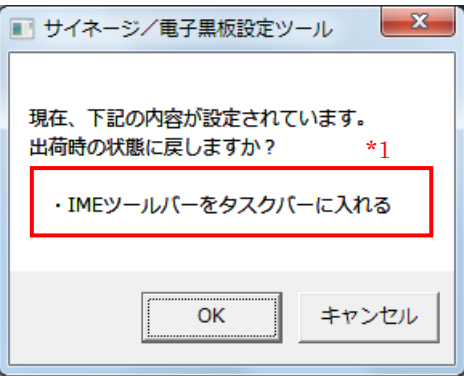
<p>10</p>	<p>★出荷時状態に戻ると、右図の画面が表示されます。</p> <p>再設定する場合は、[OK]をクリックします。新規設定時(No.4)と同じ手順です。</p> <p>[キャンセル]をクリックした場合は No.11 へ進みます。</p> <p>(表示内容は1行目を除き、No. 4 と同じです。)</p>	 <p>*1 トップ画面で選択した用途名が入ります。</p> <p>*2 設定する項目が表示されます。</p>
<p>11</p>	<p>出荷時状態に戻した状態でキャンセルすると、右の画面が表示されます。[OK]をクリックして、再起動してください。</p> <p>この画面で[キャンセル]をクリックすると、ツールが終了しますが、システムを再起動するまで一部の設定が有効になっていません。手動で再起動してください。再起動する場合は、[OK]をクリックします。</p>	



<p>12 <u>②「電子黒板のみを使用する」を選択した場合</u></p> <p><u>※既に電子黒板用途に設定されている場合は No.8 へ、他の用途に設定されている場合は No.9 へ進みます。</u></p> <p>電子黒板用途に設定する場合は、[OK]をクリックします。( → No.13 へ)</p> <p>[キャンセル]をクリックした場合は、設定を中止しトップ画面に戻ります。( → No.3 へ)</p>	
<p>13 ユーザーのログインパスワードを入力して[OK]をクリックします。( → No.7 へ)</p> <p>自動ログオン設定にしない場合は、[スキップ]をクリックします。( → No.7 へ)</p> <p>[キャンセル]をクリックした場合は、設定を中止しトップ画面に戻ります。( → No.3 へ)</p>	


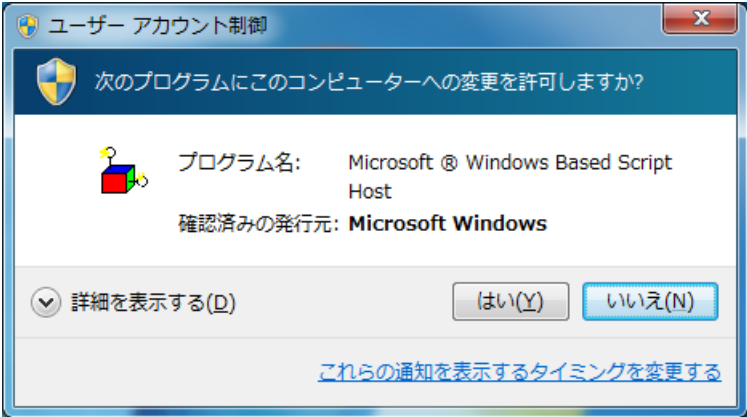
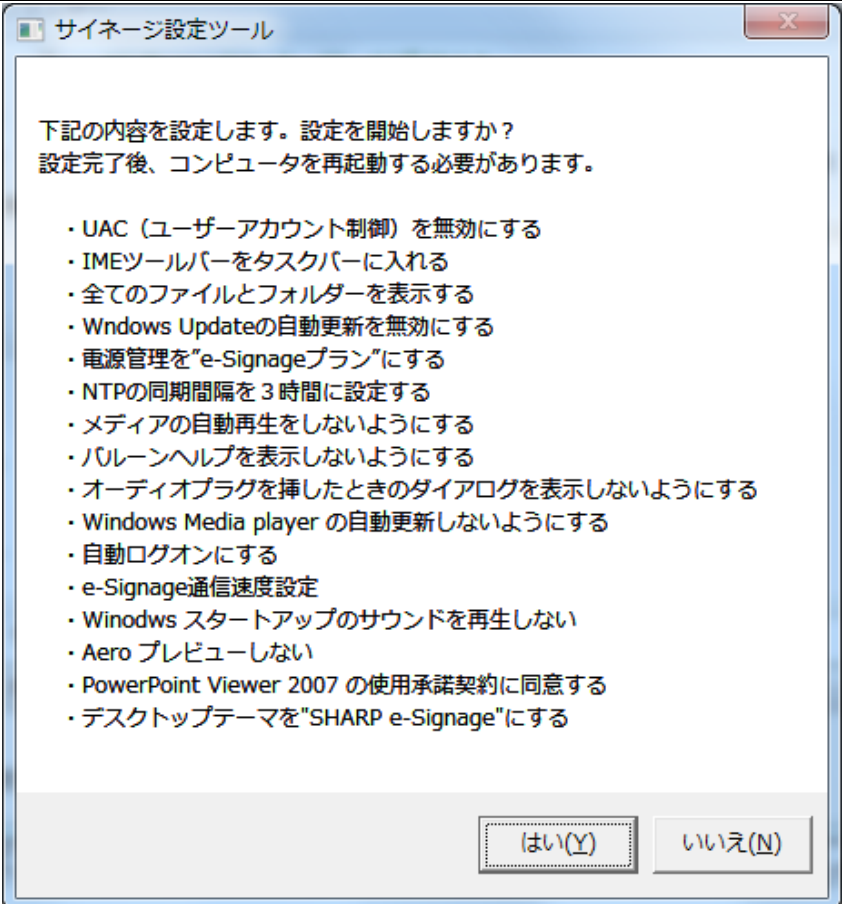


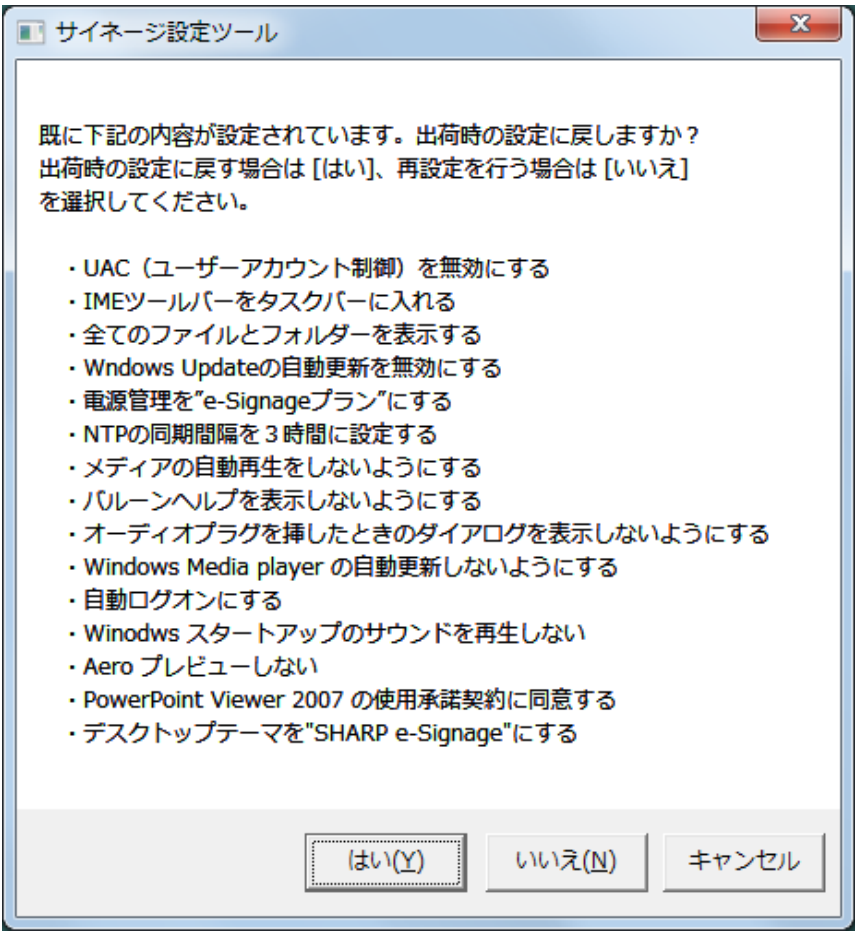
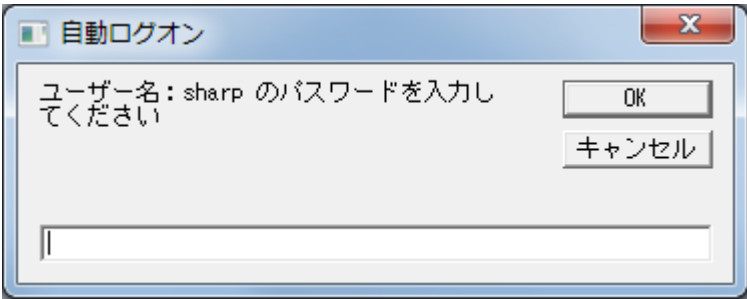
<p>14</p>	<p><b>③「サイネージと電子黒板の両方を使用する」を選択した場合</b></p> <p>※既にサイネージ／電子黒板用途に設定されている場合は No.8 へ、他の用途に設定されている場合は No.9 へ進みます。</p> <p>設定したい項目にチェックを入れて[OK]をクリックします。( → No.6 へ)</p> <p>(選択内容に応じて No.6, 7 はスキップされます)</p> <p>[キャンセル]をクリックした場合は、設定を中止しトップ画面に戻ります。( → No.3 へ)</p>	 <p>※デフォルトでは、サイネージ用途と同じ項目にチェックがついています。 ※電源管理の「e-Signage プラン」、「電子黒板プラン」はどちらか一方しか選択できません。</p>
<p>15</p>	<p><b>④「出荷時の状態に戻す」を選択した場合</b></p> <p>※本ツールを使って他の用途に設定した状態の場合は No.16 へ、手動で設定変更している場合は No.17 へ進みます。</p> <p>※既に出荷時設定になっている場合には右の画面が表示されますので、[OK]をクリックします。[OK]をクリックするとトップ画面に戻ります。</p>	

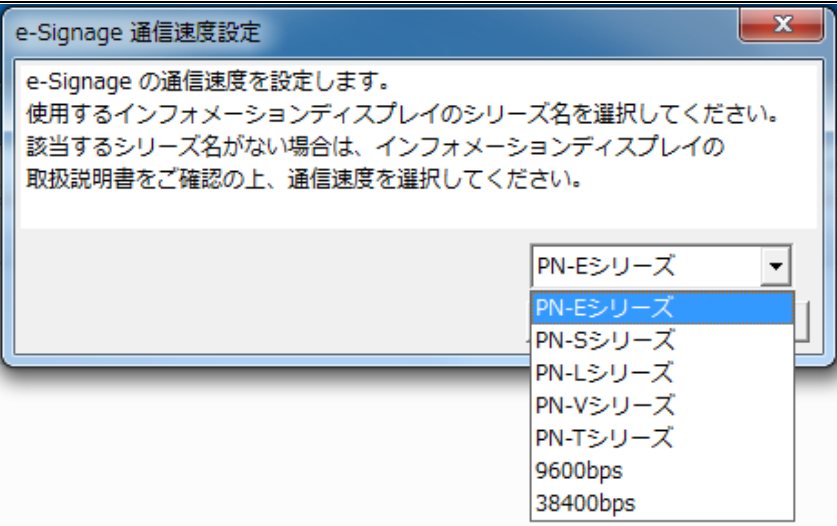
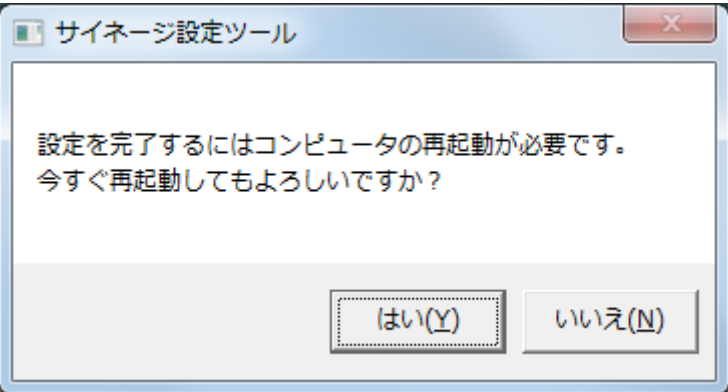
	( → No.3 へ)
<p>16 本ツールを使って他の用途に設定した状態から、「出荷時の状態に戻す」をクリックすると、右の画面が表示されます。</p> <p>出荷時の状態に戻す場合は、[OK]をクリックします。( → No.11 へ)</p> <p>[キャンセル]をクリックした場合は、設定を中止しトップ画面に戻ります。( → No.3 へ)</p>	 <p>*1 現在、設定されている用途名が入ります。</p> <p>*2 現在、設定されている項目が表示されます。</p>
<p>17 手動で設定変更している状態から、「出荷時の状態に戻す」をクリックすると、右の画面が表示されます。</p> <p>出荷時の状態に戻す場合は、[OK]をクリックします。( → No.11 へ)</p> <p>[キャンセル]をクリックした場合は、設定を中止しトップ画面に戻ります。( → No.3 へ)</p>	 <p>*1 現在、設定されている項目が表示されます。</p>

## 2.8.2. サイネージ設定ツールの実行

ユーザーのパスワードを登録していない場合は、必ず登録を行ってから実行してください。



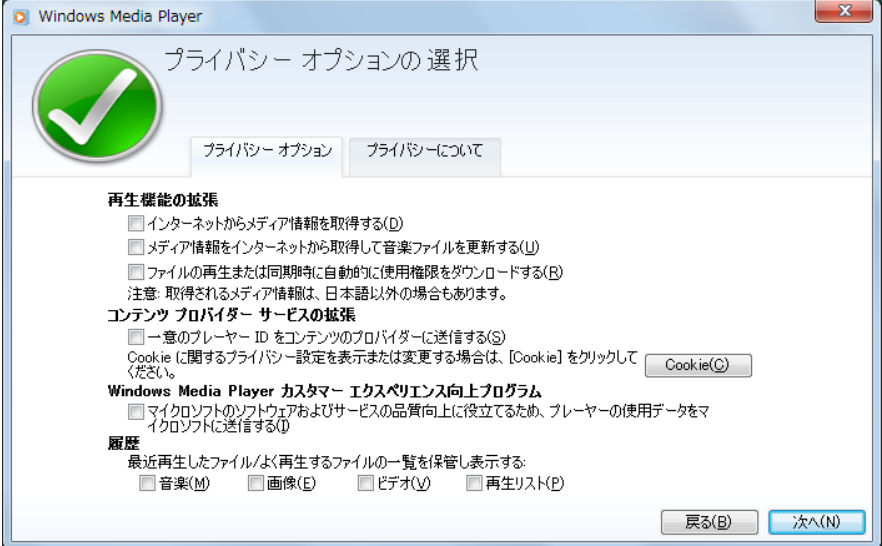
1	<p>デスクトップにあるサインネージ設定ツールのショートカット、または C:\¥SHARP¥Utility¥SetForESignage フォルダにある「サインネージ設定ツール」をダブルクリックします。</p>	
2	<p>「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい]をクリックします。</p>	
3	<p>サインネージ用に設定を変更する項目の一覧が表示されます。</p> <p>設定を実行するために、[はい]をクリックします。</p>	

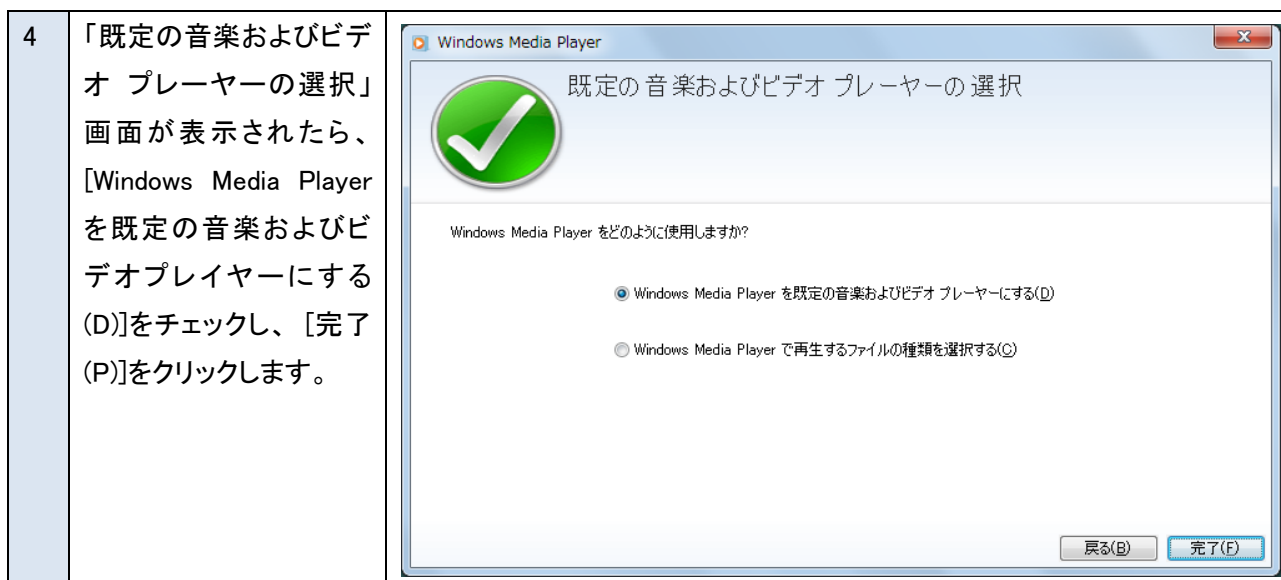
<p>4</p>	<p>既にサインージ用の設定がされている場合は右図の画面が表示されます。</p> <p>出荷時の設定に戻す必要がなければ、[キャンセル]をクリックします。</p>	
<p>5</p>	<p>自動ログオンが設定されていない場合は、右図の自動ログオンパスワード入力画面が表示されます。</p> <p>ユーザー名は、設定ツールを起動したユーザーを設定します。</p> <p>パスワードを入力して [OK]をクリックします。</p> <p>[キャンセル]をクリックした場合は、パスワード入力を中止し、設定ツールも中止します。</p>	
<p>6</p>	<p>e-Signage 通信速度設定画面が表示されます。</p> <p>使用するインフォメーションディスプレイのシリー</p>	

<p>ズ名をプルダウンメニューから選択し、[OK]をクリックします。</p> <p>該当するシリーズ名がない場合は、インフォメーションディスプレイの取扱説明書を確認し、プルダウンメニューの [9600bps] か [38400bps] を選択し、[OK]をクリックします。</p> <p>[キャンセル]をクリックした場合は、通信速度設定を中止し、設定ツールも中止します。</p>	 <p>以下の場合、サインージ設定ツールを実行後に e-Signage の「モニタ制御」の設定が別途必要となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- RS-232C ではなく LAN 接続によりモニタを制御する場合</li> <li>- 複数台のモニタを制御する場合</li> </ul> <p>e-Signage の「モニタ制御」設定の方法については、e-Signage の取扱説明書の「スケジュール受信・番組表示」-「e-Signage クライアントスケジューラについて」-「e-Signage クライアントスケジューラのメニュー」の説明をご参照ください。</p>
<p>7 ※ 設定ツール実行中にはキーボードやマウスの操作はしないでください。</p> <p>設定が完了すると右図の画面が表示されます。[はい]をクリックして再起動してください。</p>	

## 2.9. Windows Media Player / Quick Time Player / Adobe Flash Player の導入

### 2.9.1. Windows Media Player の導入

1	<p>タスクバーにある「Windows Media Player」をクリックします。</p>	
2	<p>「Windows Media Player へようこそ」画面が表示されたら、[カスタム設定(C)]をクリックします。</p>	
3	<p>「プライバシーオプションの選択」画面が表示されたら、[次へ(N)]をクリックします。</p>	



## 2.9.2. Quick Time Player / Adobe Flash Player の導入

Quick Time コンテンツの再生には、別途 Quick Time Player が必要です。

Adobe Flash コンテンツの再生には、別途 Adobe Flash Player が必要です。

Quick Time Player、Adobe Flash Player の導入については、各メーカーのサーバーをご参照いただき、必要な場合にはソフトウェアをダウンロードして、インストールしてください。

また、サイネージ用途で使われる場合は、各プレーヤーの設定画面より自動更新を停止する設定にすることを勧めます。

## 2.10. タッチパネルドライバのインストール

タッチパネルドライバは C:\SHARP\Drivers\TouchPanel フォルダに格納されています。

インフォメーションディスプレイに同梱されている「タッチパネルドライバ取扱説明書」の「コンピューターのセットアップ」の手順に従って、タッチパネルをセットアップしてください。

(2012/02/16 版 HDI には、同フォルダに取扱説明書ファイル(PDF)が含まれています。)

HDI バージョンによって、PN-ZP20 にバンドルされているドライバが異なりますので、ご注意ください。

(搭載ソフトについては、「[2.1.プリインストール・バンドルソフト](#)」をご参照ください。)

## 2.11. SHARP ペンソフトのインストール

SHARP ペンソフトは C:\SHARP\Utility\Pen フォルダに格納されています。

インフォメーションディスプレイに同梱されている CD 内の「SHARP ペンソフト取扱説明書」の「インストール/アンインストールする」の手順に従って、SHARP ペンソフトをインストールしてください。

(2012/02/16 版 HDI には、同フォルダに取扱説明書ファイル(PDF)が含まれています。)

HDI バージョンによって、PN-ZP20 にバンドルされているバージョンが異なりますので、ご注意ください。

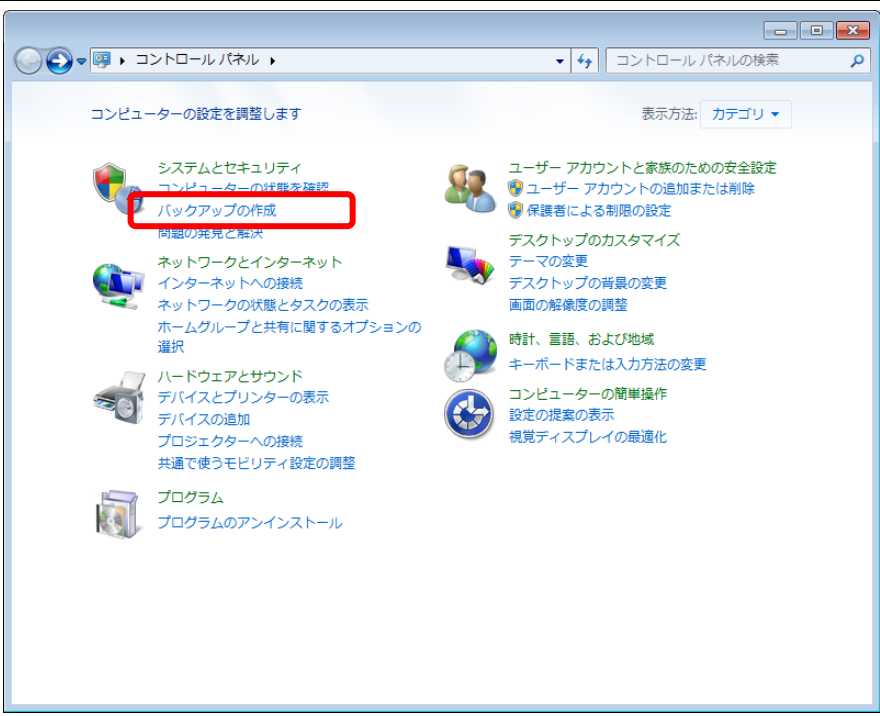
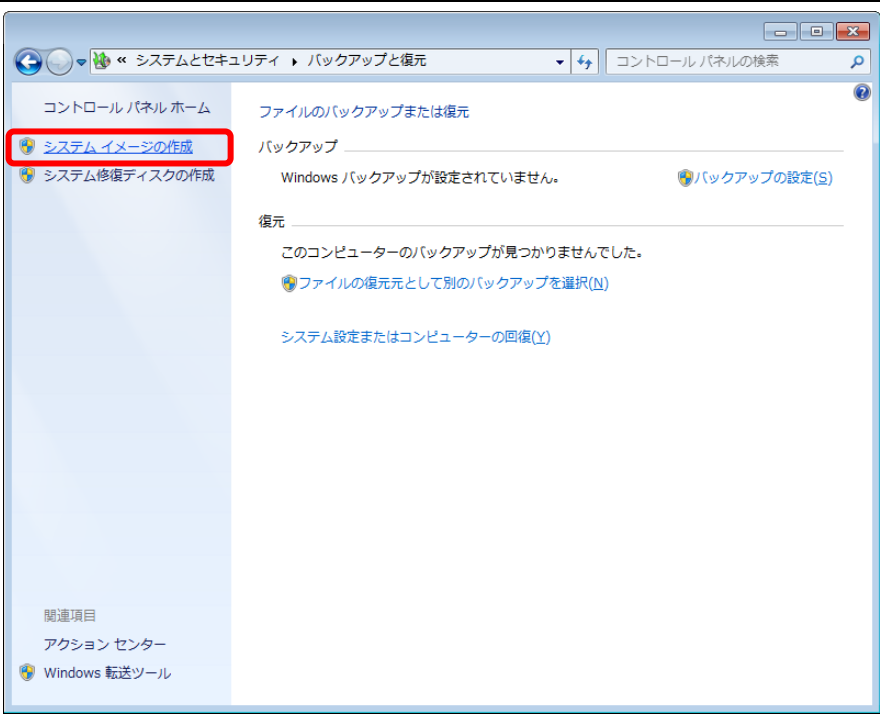
(搭載バージョンについては、「[2.1.プリインストール・バンドルソフト](#)」をご参照ください。)



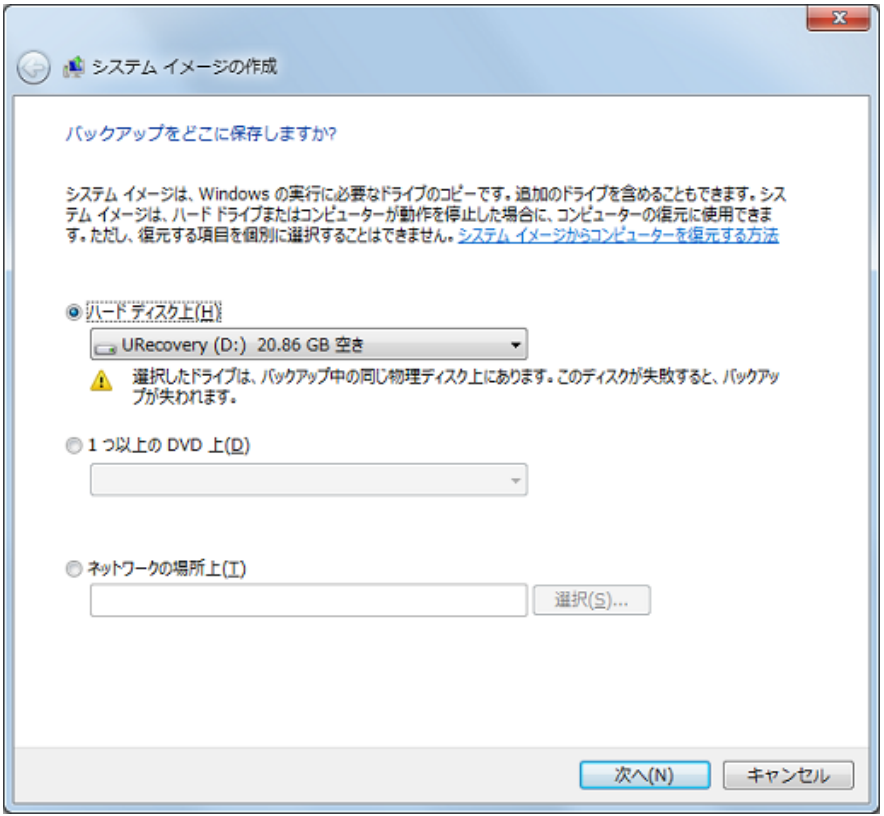
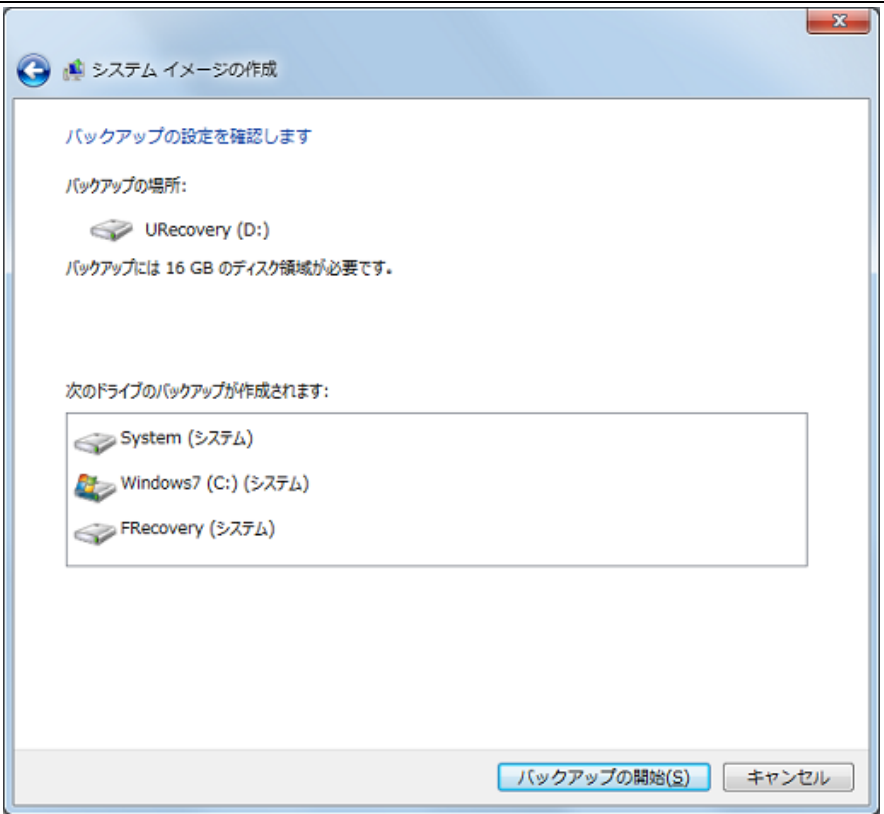
SHARP ペンソフトの最新バージョンは SHARP インフォメーションディスプレイのホームページ <http://www.sharp.co.jp/lcd-display/corporate/> でご確認ください。

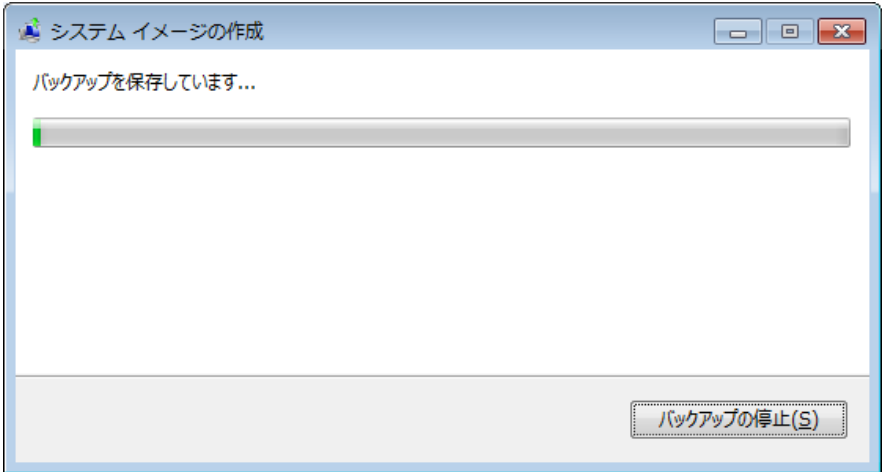
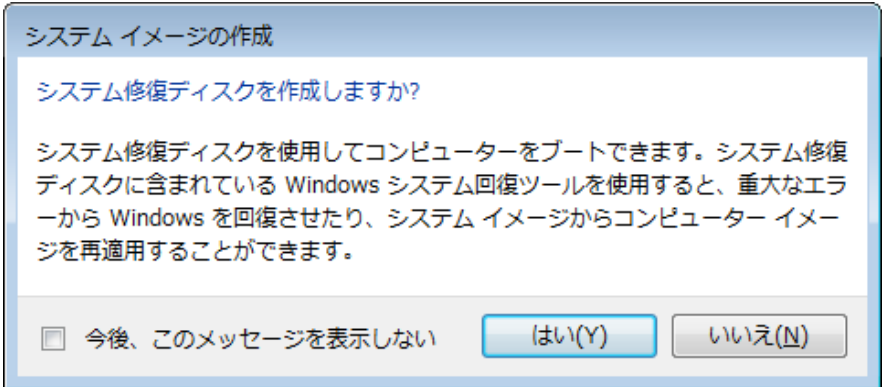
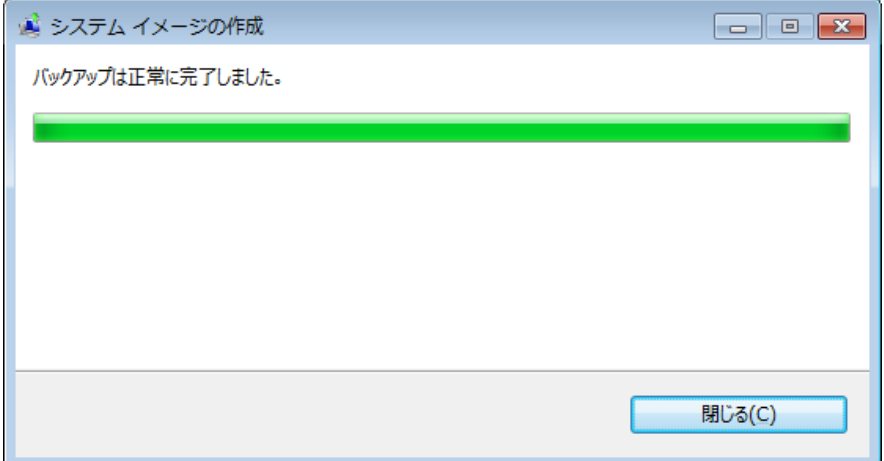
## 2.12. <推奨>ユーザーリカバリイメージの作成

セットアップが完了したら、ハードディスクのバックアップイメージの作成をお奨めします。

<p>1 「コントロールパネル」から「バックアップの作成」を選択します。</p> <p>※表示方法が「カテゴリ」の場合</p>	 <p>The screenshot shows the Windows Control Panel window. The title bar reads 'コントロールパネル'. The main content area is titled 'コンピューターの設定を調整します' and lists various system settings categories. The 'バックアップの作成' (Create a backup) option is highlighted with a red rectangular box.</p>
<p>2 「システムイメージの作成」を選択します。</p>	 <p>The screenshot shows the 'バックアップと復元' (Backup and Restore) control panel window. The left-hand navigation pane is visible, and the 'システムイメージの作成' (Create a system image) option is highlighted with a red rectangular box. The main content area shows instructions for creating a system image.</p>



<p>3</p>	<p>バックアップの保存場所を選択します。        選択後、[次へ]をクリックします。</p> <p>※既にバックアップイメージを保存しているドライブを選択すると、バックアップイメージが書き込まれる場合があります。        ご注意ください。</p>	
<p>4</p>	<p>バックアップ設定を確認します。        確認ができたなら、[バックアップの開始]をクリックします。</p>	

<p>5</p>	<p>システムイメージの作成中には、右図のような画面が表示されます。</p> <p>システムイメージのサイズや、バックアップドライブの通信速度によって、バックアップ時間が異なります。</p> <p>ご参考:本手順書に記載のセットアップを実施後、Dドライブ(URcoveryパーティション)にバックアップを作成すると、約13分かかります。</p>	
<p>6</p>	<p>システム修復ディスクを作成しますか?の画面が表示されます。</p> <p>「いいえ」をクリックします。</p>	
<p>7</p>	<p>バックアップイメージの作成が完了したら[閉じる]ボタンをクリックします。</p>	


### 3. Windows 再セットアップ手順

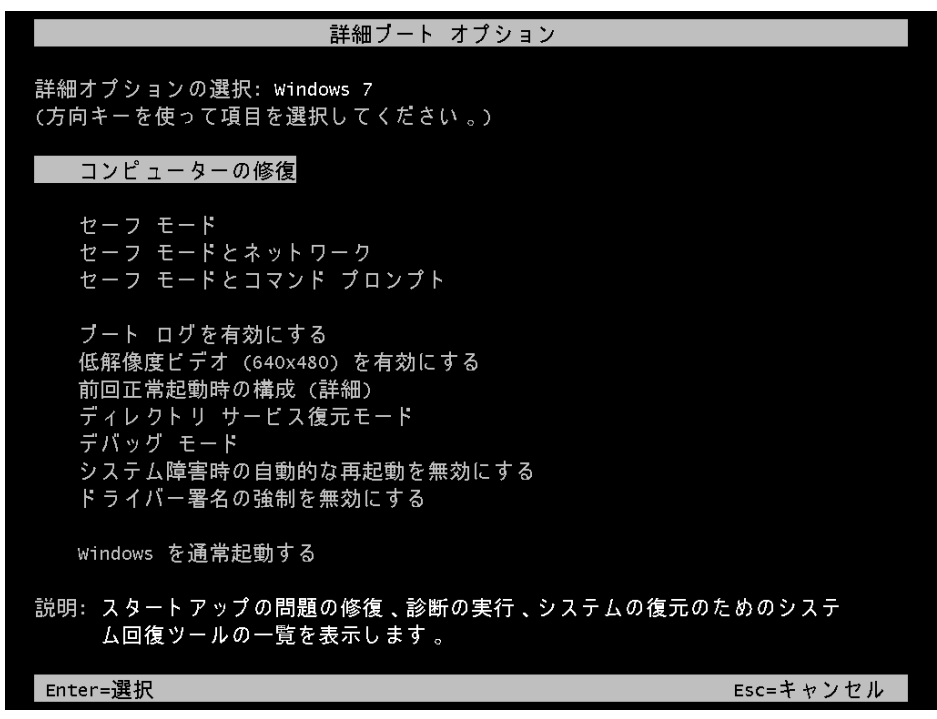
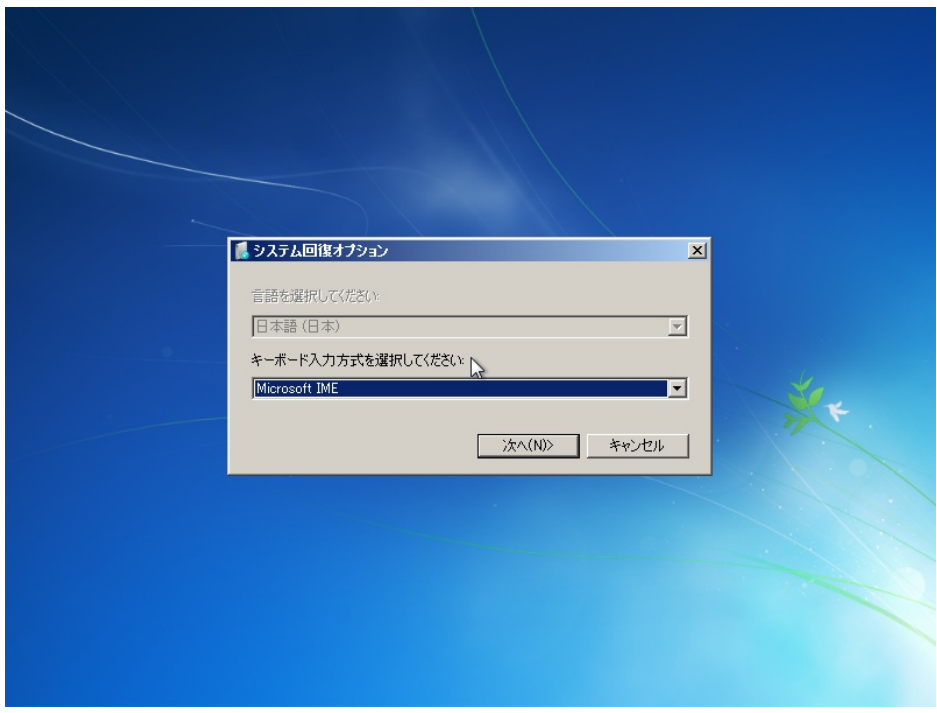
Windows の再セットアップ手順と、再セットアップ後に生成される Windows.old フォルダの削除手順を説明します。

Hint: 以前のバージョンの Windows 7 で使用したファイルは Windows.old フォルダに格納されます。

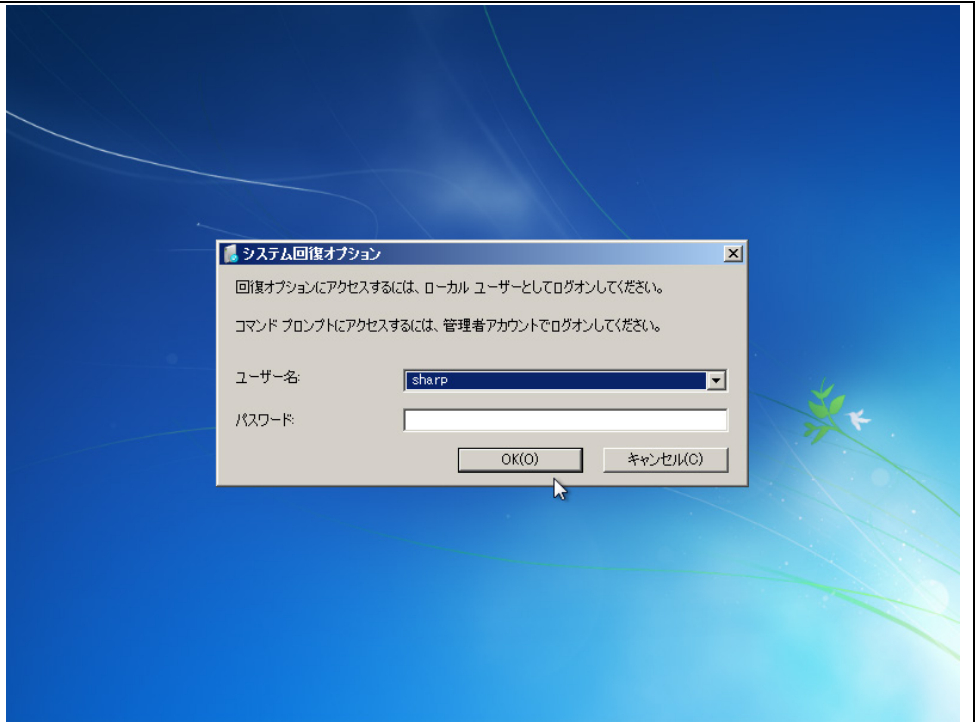
不必要な場合には、ディスク クリーンアップを使用して Windows.old フォルダを削除することができます。

#### 3.1. Windows の再セットアップ手順

1	コントローラーの起動時に右図の画面が表示されたら、キーボードの「F8」キーを連続的に押します。	 The image shows a computer screen during the BIOS boot process. In the center, the word "SHARP" is displayed in a bold, red, sans-serif font with a registered trademark symbol. At the bottom of the screen, there is a black horizontal bar with the white text "Press [DEL] to enter SETUP".
---	---	---

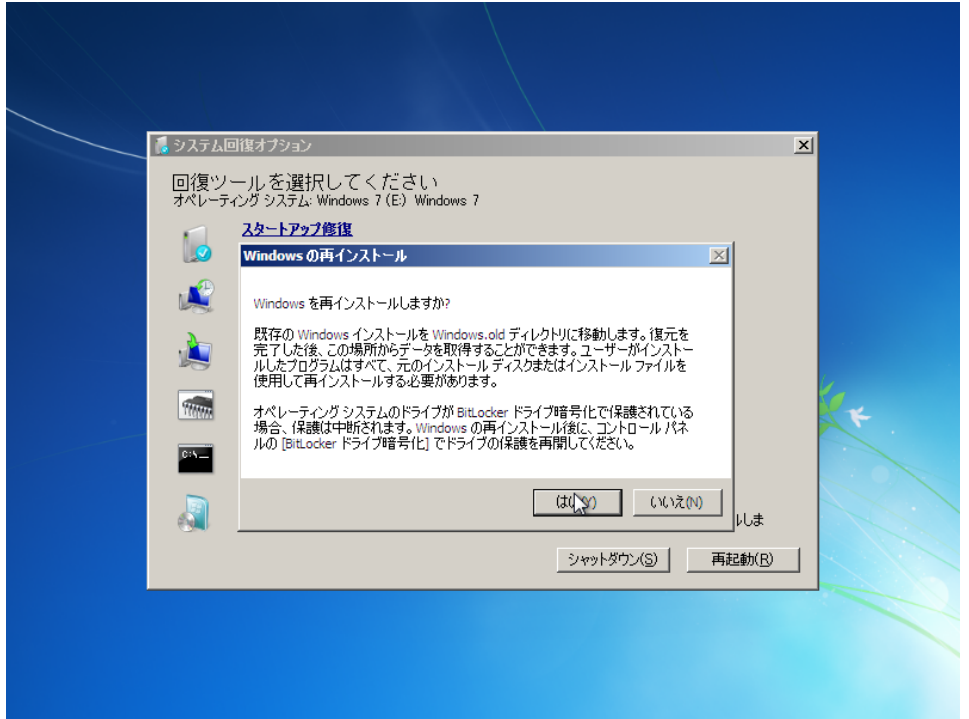
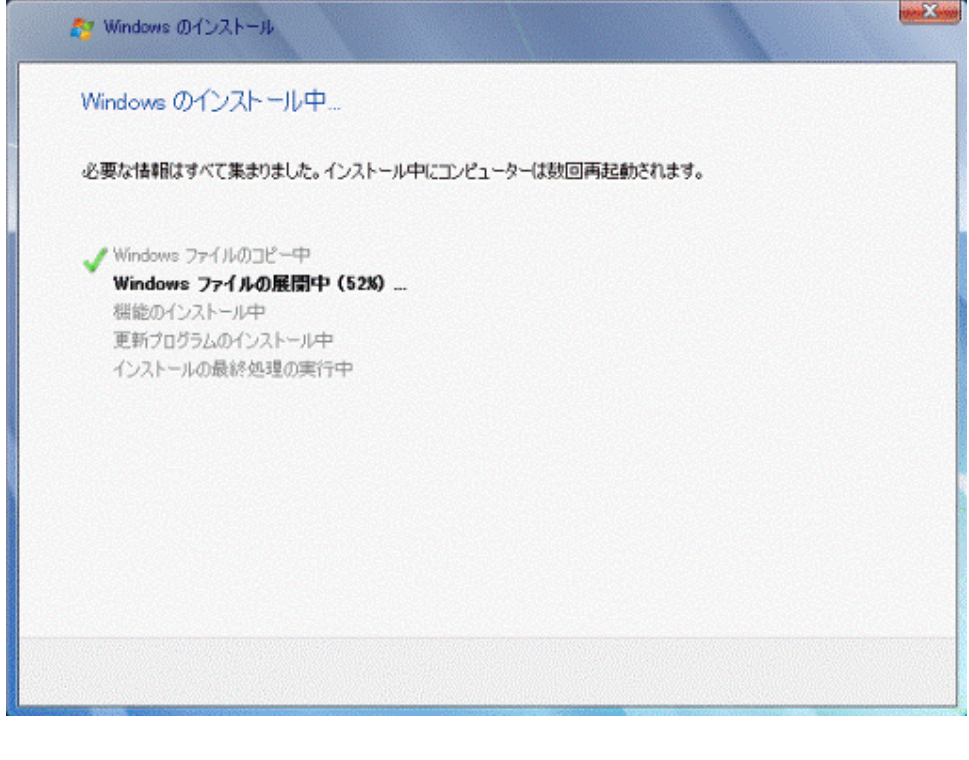
<p>2 「詳細ブートオプションメニュー」が表示されたら、「コンピューターの修復」を選択します。</p>	
<p>3 キーボード入力方式を選択して[次へ]をクリックします。</p>	


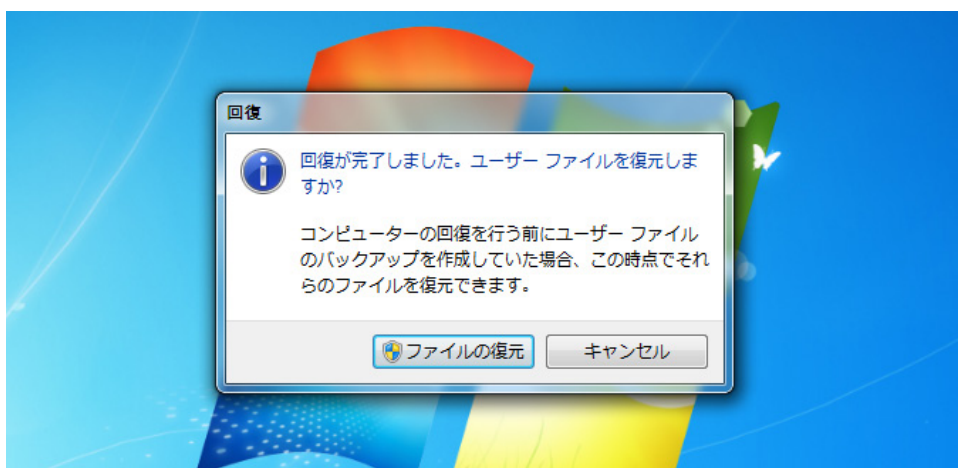
4 管理者アカウントでロ  
グオンします。



5 「Windows の再インス  
トール」を選択します。

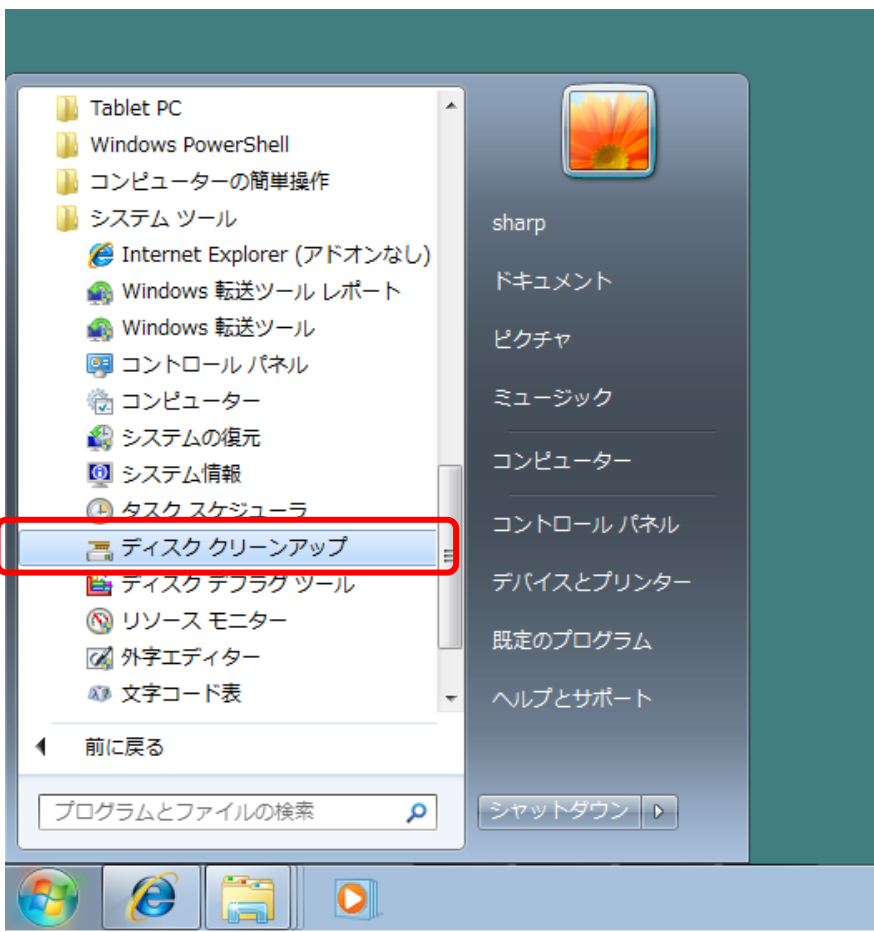
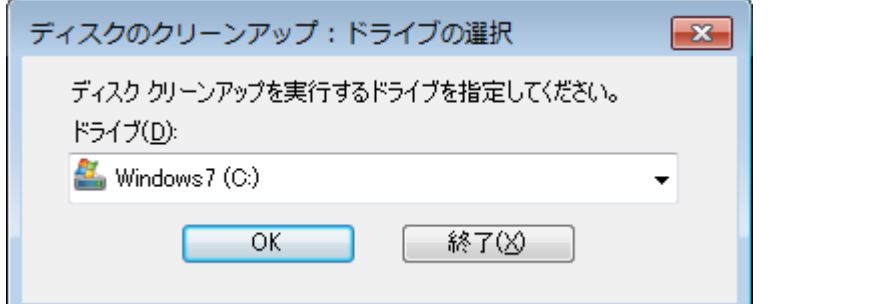
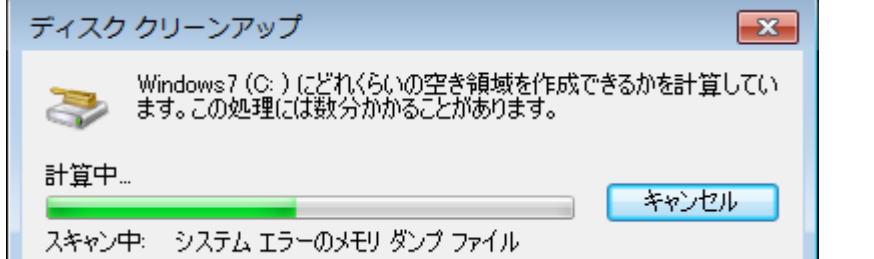


<p>6 「Windows の再インストール」の確認画面で「はい」をクリックします。</p>	
<p>7 「開始しています...」の画面の後、次のメッセージが表示され、Windows のインストールが開始します。</p> <p>途中 再起動も行われます。</p>	

<p>8</p>	<p>画面の指示に従って、Windows のセットアップを行います。</p>	
<p>9</p>	<p>Windows のセットアップが完了すると、「回復が完了しました。…」の画面が表示されます。</p>	

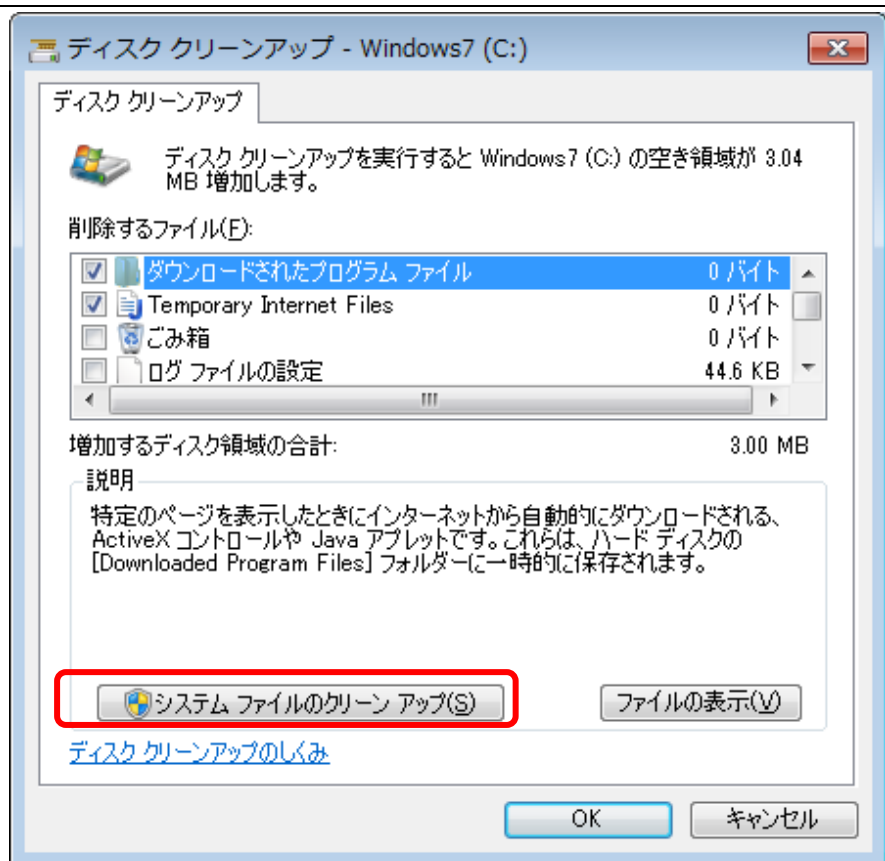


### 3.2. Windows.old フォルダーの削除手順

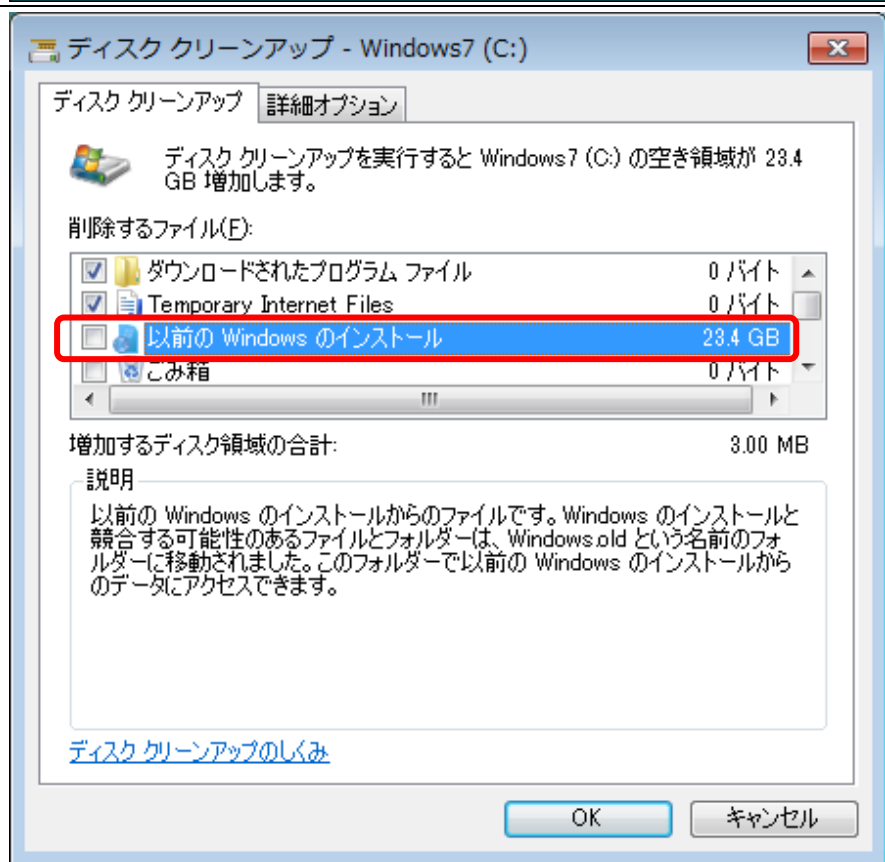
<p>1 [スタート]メニューから、「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「ディスククリーンアップ」を実行します。</p>	
<p>2 ドライブを選択するように要求されたら、「C:」ドライブを選択し、[OK] をクリックします。 ※ 要求されない場合もあります。</p>	
<p>3 右図のような画面が表示されます。</p>	



4 [システム ファイルのクリーン アップ] をクリックします。  
 (ドライブを選択するように再要求されたら、Windows がインストールされたドライブ(C:)を選択し、[OK] をクリックします。




5 [以前の Windows のインストール] および削除するファイルの他のカテゴリを選択します。  
 [OK] をクリックし、[ファイルの削除] をクリックします。

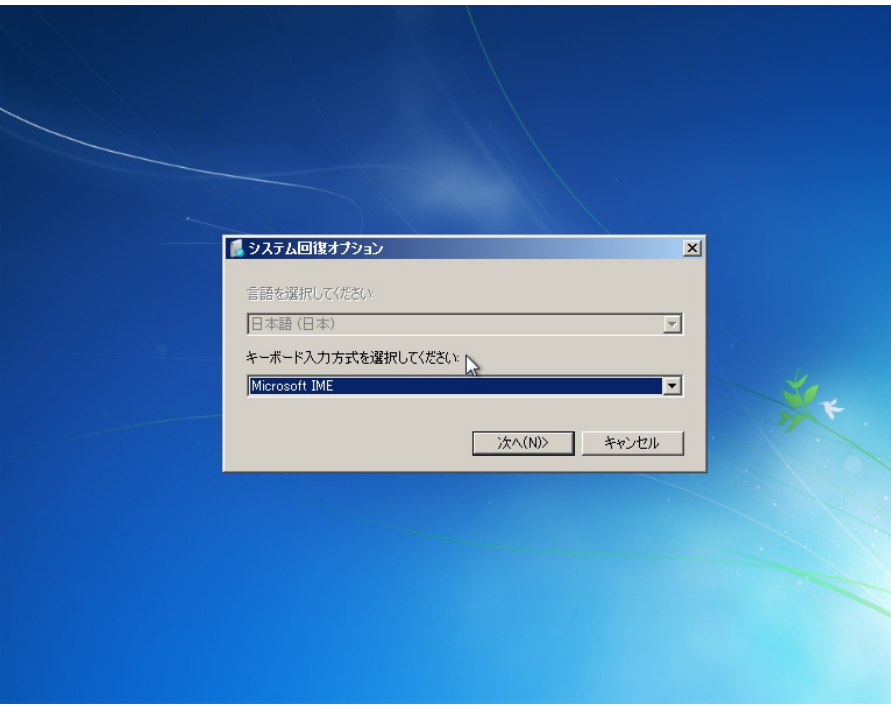
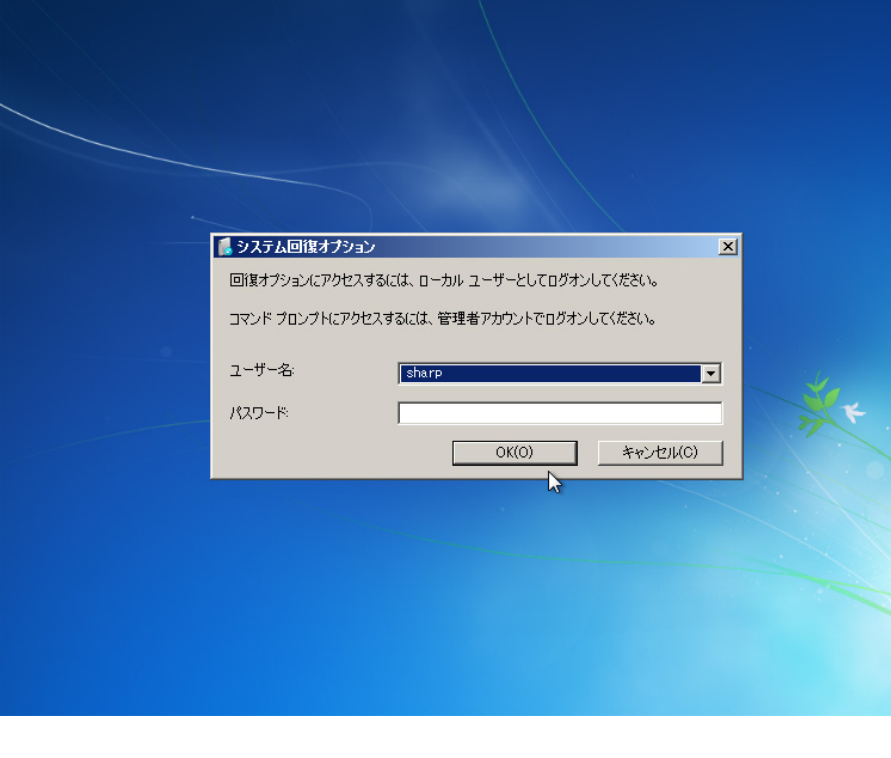


## 4. システムイメージの復元手順

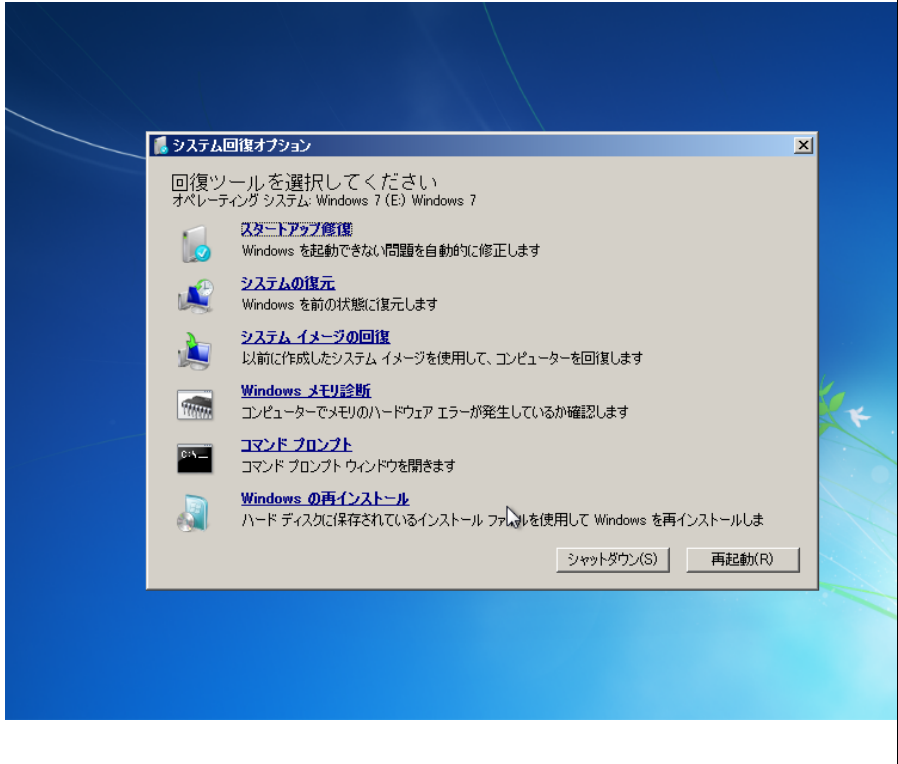
「2.11. ユーザーリカバリイメージの作成」の手順で保存した、システムイメージの復元方法について説明します。

### 4.1. システムイメージの復元手順 (HDI 内の回復環境からブートする)

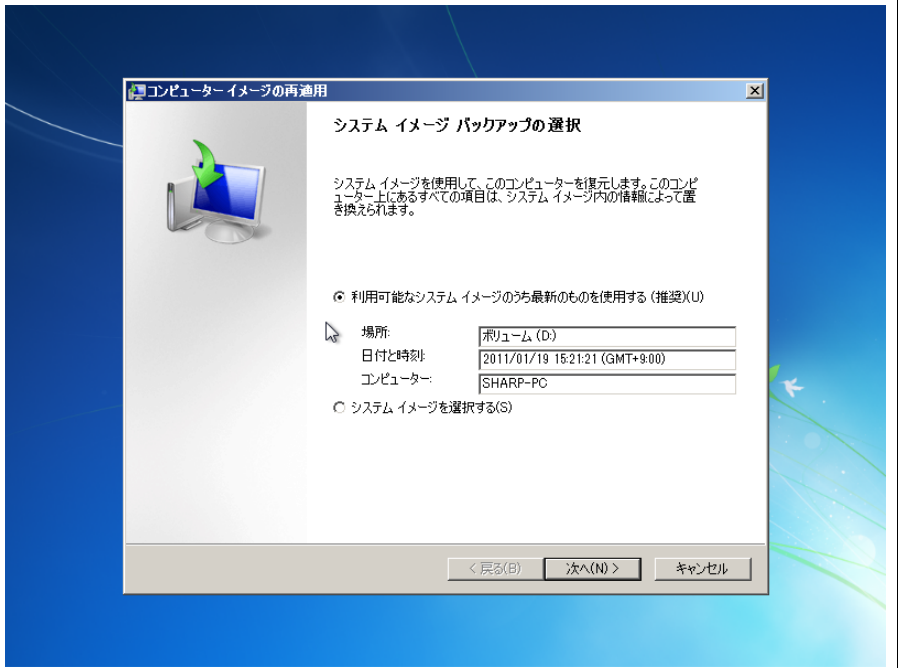
1	<p>コントローラーの起動時に右図の画面が表示されたら、キーボードの「F8」キーを連続的に押します。</p>	 <p>Press [DEL] to enter SETUP</p>
2	<p>「詳細ブートオプションメニュー」が表示されたら、「コンピューターの修復」を選択します。</p>	

3	<p>キーボード入力方式を選択して[次へ]をクリックします。</p>	
4	<p>管理者アカウントでログインします。</p>	

5 システム回復オプションから「システム イメージの回復」を選択します。

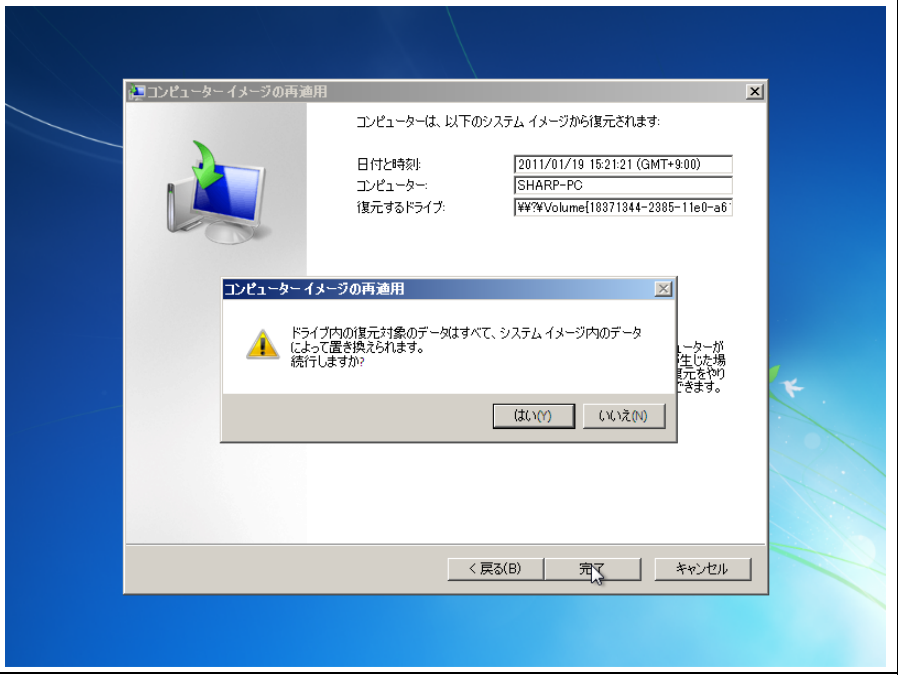


6 イメージの選択を行います。

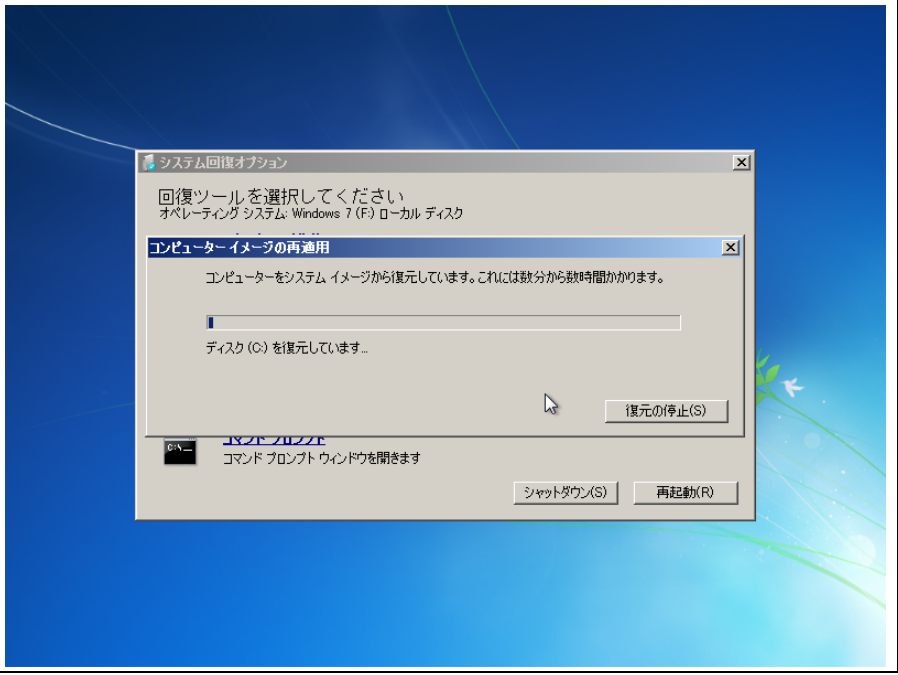


7	<p>他の復元方法のオプションがある場合には表示されます。</p>	
8	<p>完了を押すことで、続行します。</p>	

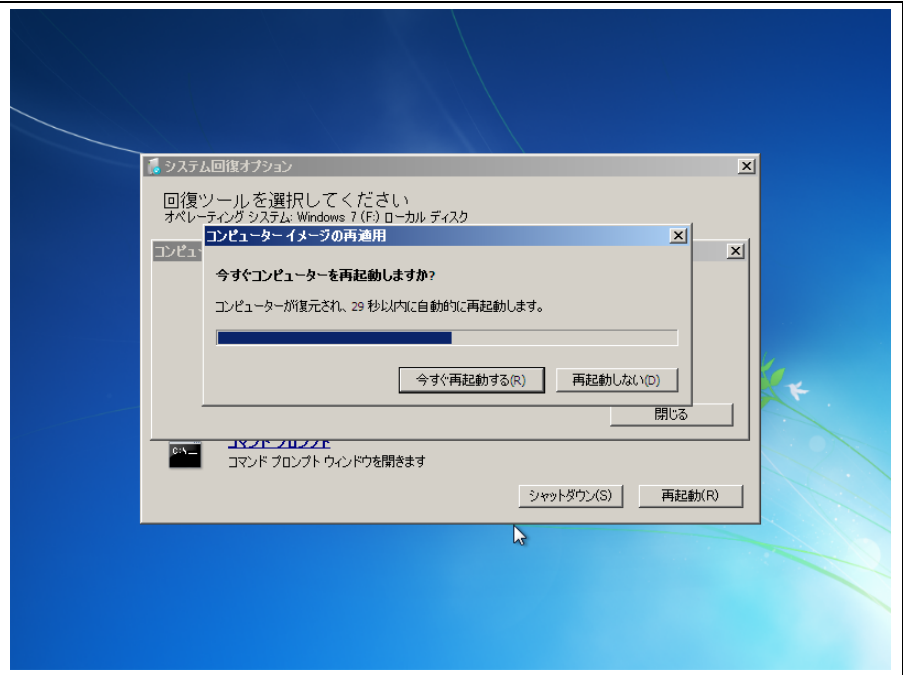
9 確認のダイアログで「はい」をクリックします



10 (復元中画面)




11 完了すると、再起動されます。



#### 4.2. システムイメージの復元手順 (同梱の Windows7 DVD-ROM からブートする)

新規 HDD や HDI の回復環境に問題が生じた場合には、同梱の Windows7 Professional DVD-ROM を使って、既にバックアップしたシステムイメージを回復することができます。

1		<p>PN-ZP20 に、同梱の Windows7 Professional DVD-ROM を入れた DVD ドライブを接続します。 バックアップしたシステムイメージが、外付け USB HDD 内にある場合、USB HDD も接続しておきます。 Windows7 DVD-ROM からブートします。 DVD からブートする際に、画面左上に[Press any key to boot from CD or DVD]と表示されたら、直ちにキー[Enter]を押してください。(DVD 以外からのドライブからブートできない場合には、本メッセージは表示されません)</p>
2	(ブート中の画面)	 <p>The screenshot shows a black background with the text 'Windows is loading files...' in the center. A white progress bar is visible below the text. In the top right corner, there is a small red text 'Copyright © TechTalkz.com'.</p>



3 [次へ]をクリックします。



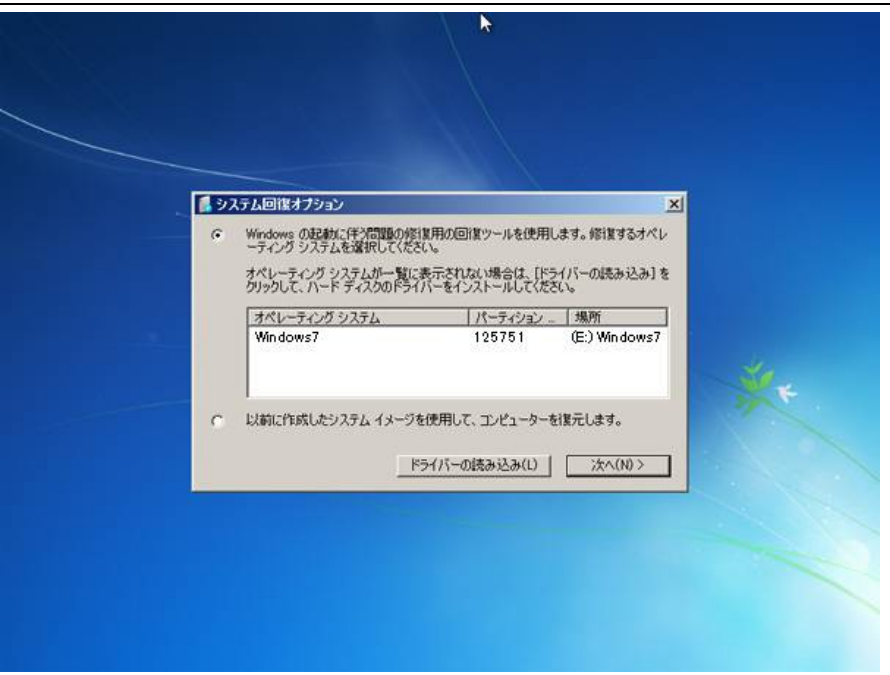
4 [コンピューターを修復する]をクリックします。

※TIPS この画面が表示されたら、Shift+F10 を押して、コマンドプロンプトを起動することもできます。



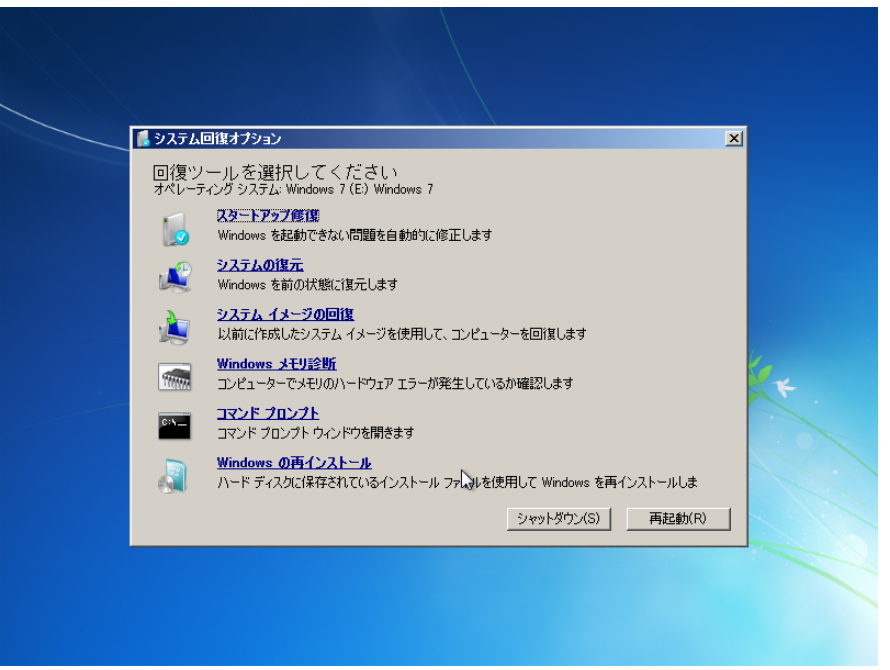
5 [次へ]をクリックします。

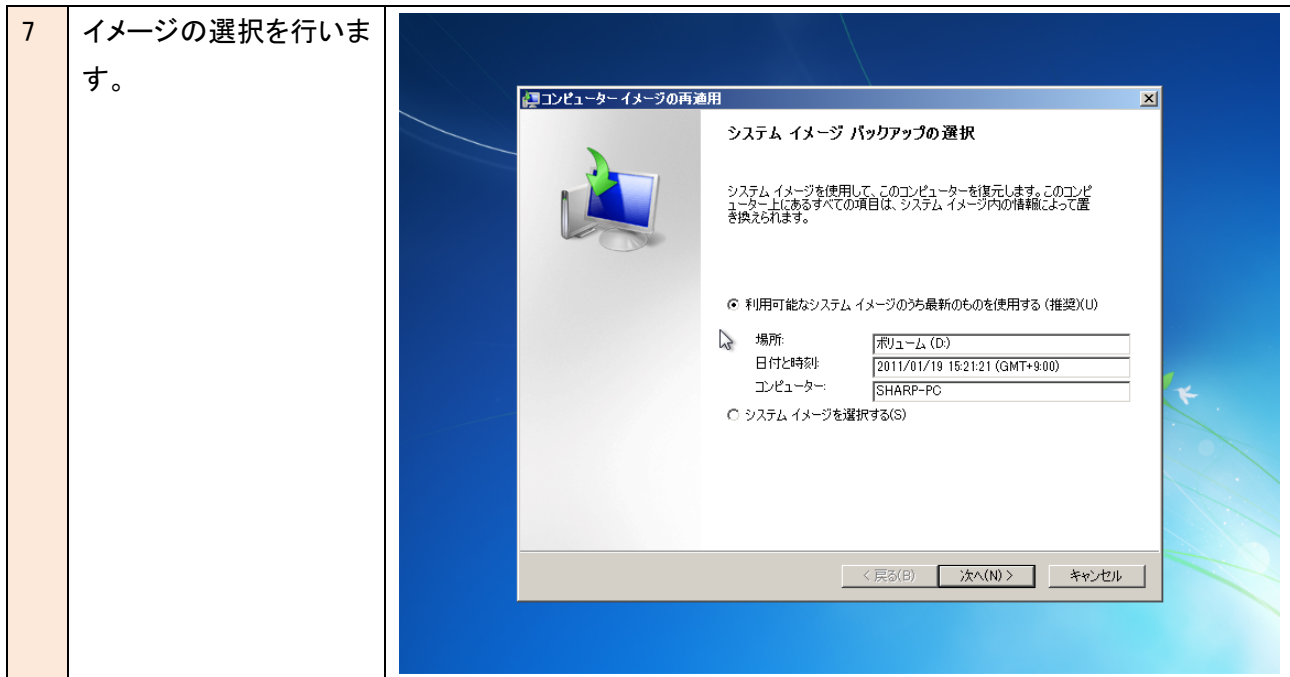
※ 新規 HDD など内蔵 HDD 内に OS が見つからない場合には、修復するオペレーティングシステムが表示されません。



6 システム回復オプションから「システム イメージの回復」を選択します。

※ 内蔵 HDD 内の OS リカバリ回復環境が使用できない場合には、表示されません。





これ以降は、「4.1. システムイメージの復元手順 (HDI 内の回復環境からブートする)」の「7」以降と共通の手順になります。